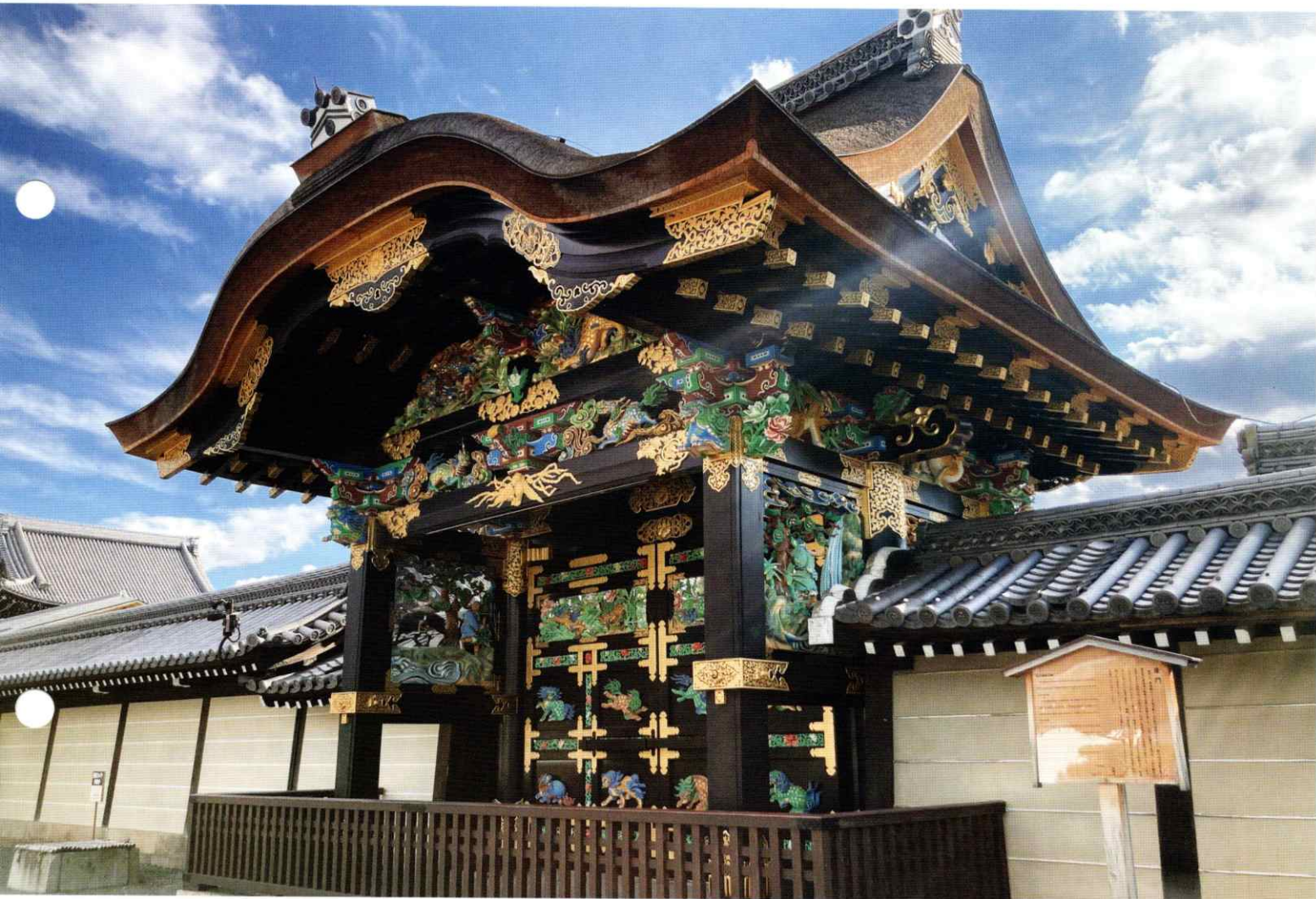


# 京柔整會報

新年号 機関誌 172号



## 新年のご挨拶

「新年を寿ぎお祝いを申し上げます」

会長 林 啓史

## 講習会

令和6年度 第1回京都府補助金事業「運動器疾患対応力向上実施事業」  
令和6年度 第2回京都府補助金事業「運動器疾患対応力向上実施事業」

## 特別投稿

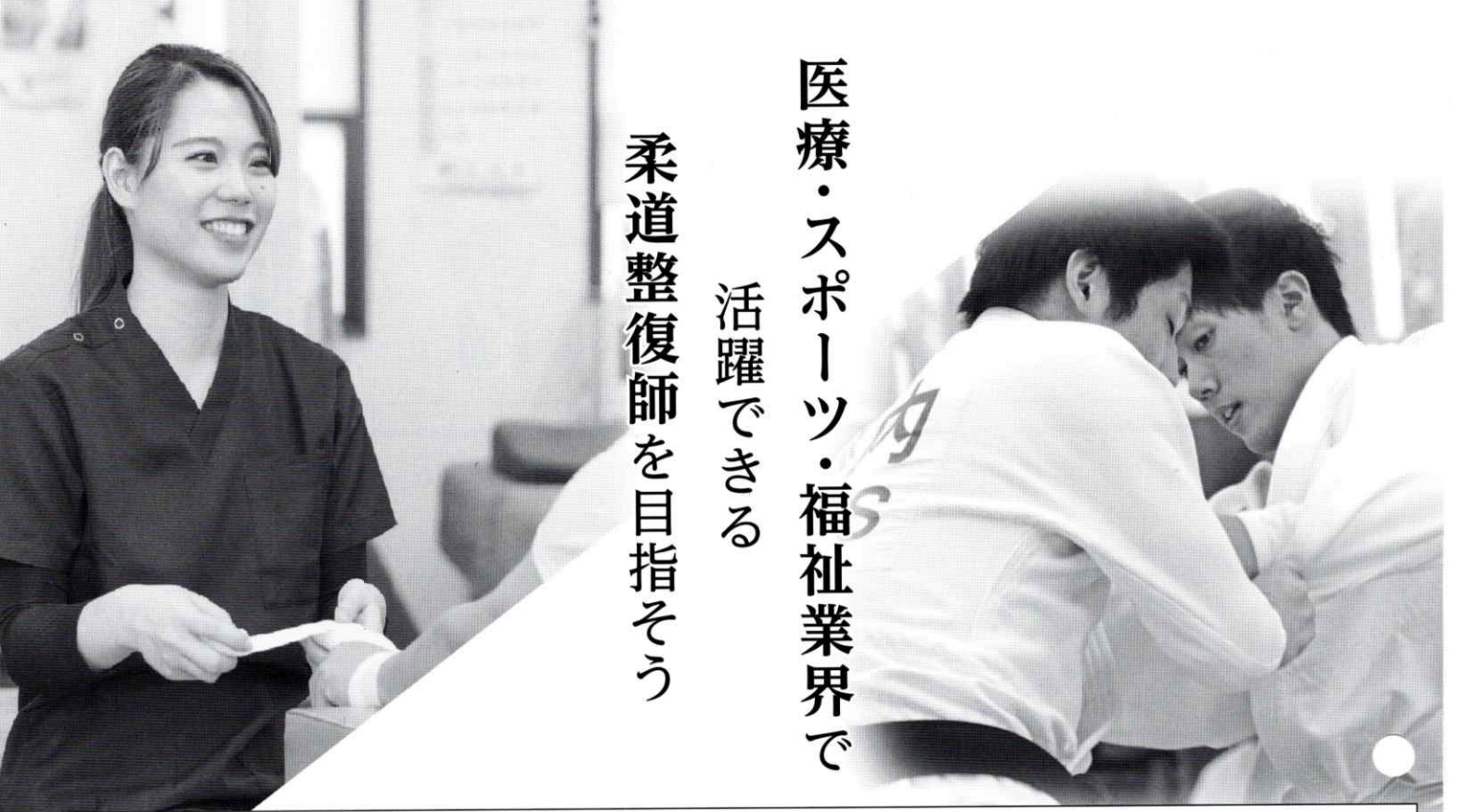
「高齢化社会」を迎えて(その11)－「終活」の具体的進め方(10)－  
本会顧問 弁護士 薦田 純一

公益社団法人 京都府柔道整復師会

令和7年1月20日







柔道整復師を目指そう

活躍できる

医療・スポーツ・福祉業界で

## 柔道整復科 3年制

I部 [昼間] 午前集中コース  
柔整スポーツコース

### 目指す資格 ▶ 柔道整復師 (国家資格)

柔道整復師は骨折、脱臼、ねんざなどのケガの施術を行える数少ない資格です。また、資格取得後は接骨院などを独立開業できることも大きな魅力です。本校では、授業+αでスポーツの知識を身に付けることができる、多職種連携授業を行っています。卒業後はスポーツ現場で働くことも可能です。

業界で活躍する  
柔道整復科の卒業生

**1,453名**

2007~2023年度卒業生実績

開校以来、毎年多くの卒業生を輩出！  
整骨院や整形外科、福祉施設など  
様々な分野で活躍しています。



京都医健  
スポーツ現場力  
アカデミー **KISA**

あなたの目指す未来に「スポーツ現場力」をプラス



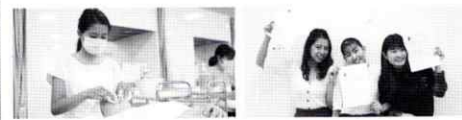
京都で唯一！

京都府  
柔道整復師協会  
主催の  
**保険講習会**  
を学内で開催！



### 医療に+αで美容が学べる

トータルビューティー科の先生から直接美容  
について学ぶことができ、フェイシャルエステ  
の資格取得も目指すことができます。



### 滋慶学園 総長杯 柔道大会

**12連覇達成**



**鍼灸科** 午前集中コース  
スポーツ美容コース  
I部 [昼間] **3年制**

**理学療法科**  
I部 [昼間] **4年制**  
II部 [夜間]

**作業療法科**  
I部 [昼間] **4年制**

**視能訓練科**  
I部 [昼間] **3年制**

**スポーツ科学科** **2年制**

**スポーツマネジメント  
テクノロジー科** **4年制**

**美容師科** **2年制**

**トータルビューティー科** **2年制**

**言語聴覚科**  
I部 [昼間] **2年制**  
※大卒者対象

**社会福祉科**  
II部 [夜間] **1年制**  
※大卒者等対象

**精神保健福祉科**  
II部 [夜間] **1年制**  
※大卒者等対象

**医健KEN 京都医健専門学校**

フリーダイヤル **0120-448-808**

〒604-8203 京都市中京区衣棚町51-2

ケータイからも  
**OK!**

Eメール [info@kyoto-iken.ac.jp](mailto:info@kyoto-iken.ac.jp)

京都医健 で 検索

HPはコチラから



## 目 次

● 新年のご挨拶	会 長	林 啓 史	3
● 新年のご挨拶	公益社団法人日本柔道整復師会会長	長 尾 淳 彦	5
● 新年のご挨拶	京都府知事	西 脇 隆 俊	6
● 新年のご挨拶	京都市長	松 井 孝 治	7
● 新年のご挨拶	京都府医師会会長	松 井 道 宣	8
● 新年のご挨拶	参議院議員	西 田 昌 司	9
● 新年のご挨拶	参議院議員	吉 井 章	10
● 新年のご挨拶	元衆議院議長	伊 吹 文 明	11
● 新年のご挨拶	前衆議院議員	田 中 英 之	12
● 新年のご挨拶	京都府議会議員	田 中 英 夫	13
● 新年のご挨拶	京都市会議員	橋 村 芳 和	14
● 新年のご挨拶	副会長	谷 山 和 浩	15
● 新年のご挨拶	総務部長	岡 田 達 也	16
● 新年のご挨拶	経理部長	西 村 美 紀	17
● 新年のご挨拶	保険部長	中 村 英 弘	18
● 新年のご挨拶	学術部長・保険部副部長	今 井 雅 浩	19
● 新年のご挨拶	事業部長	兼 田 旭 紘	20
● 新年のご挨拶	広報部長	中 川 稔 貴	21
● 新年のご挨拶	監事	薦 田 純 一	22
● 新年のご挨拶	監事	細 川 義 昭	23
● 新年のご挨拶	京都市伏見地域介護予防推進センター 代表	林 啓 史	24
● 新年のご挨拶	京都府柔道整復師協同組合 理事長	長 尾 淳 彦	25
✿	令和6年度第1回京都府補助金事業保険講習会・運動療法ワークショップ開催		26
✿	令和6年度第2回京都府補助金事業保険講習会 第81回京都接骨学会・保険講習会		28
✿	第47回近畿学術大会 和歌山大会 開催		31
✿	令和6年度第1回理事支部長会議・個人情報保護に関する研修会		33
✿	全体会議		34
✿	京都府総合防災訓練	事業部 兼 田 旭 紘	36
✿	「第36回市民スポーツフェスティバル」救護活動		38



✿	文部科学省杯争奪 第33回日整全国少年柔道大会 第14回日整全国少年柔道『形』競技会 ..... 事業部 兼田 旭 紘 .....	40
✿	第18回宮津与謝柔道連盟杯ジュニア大会救護活動 ... 北丹支部 宮根 保 司 .....	43
✿	第69回京都道場選抜「東西対抗柔道大会」..... 北支部 西村 美 紀 .....	44
✿	2024年度柔道救護担当者講習会 ..... 左京支部 岡島 順 .....	45
✿	第43回舞鶴学童柔道大会救護活動報告 ..... 北丹支部 貞岡 辰 夫 .....	46
✿	第7回舞鶴赤れんが中学生柔道大会 ..... 北丹支部 河原 巧 .....	46
✿	『第36回市民スポーツフェスティバル 第71回京都市ソフトボール大会 第34回京都市壮年ソフトボール大会』救護係として参加して ..... 左京支部 岡島 順 .....	47
✿	第16回日整近畿ブロック親善ゴルフ大会 ..... 京柔整ゴルフ同好会 山形 高明 .....	48
✿	2024年度 第11回 柔道医科学研究会 ..... 城陽支部 国本 一 路 .....	49
✿	特別投稿 「高齢化社会」を迎えて（その11）－「終活」の具体的進め方（10）－ ..... 本会顧問 弁護士 薦田 純 一 .....	51
🌸	支部だより	
	・西山会総会親睦会開催 ..... 西京支部長 上田 憲 一 .....	54
	・北・上京会開催 ..... 通信員 相良 遼 太 .....	55
👤	会員の動静 .....	56
🗨️	掲示板コーナー .....	56
📖	編集後記 .....	56

## 表紙の写真

### 西本願寺 唐門（からもん）

西本願寺は浄土真宗本願寺派の本山でお西さん（本願寺）とも呼ばれています。

世界文化遺産に登録されている境内や国宝の御影堂・阿弥陀堂、書院、飛雲閣などをはじめとする歴史的建造物です。その中でも唐門（国宝）は境内の南側、北小路通に南面して建つ。境内東側の御影堂門、阿弥陀堂門がそれぞれの堂への入口であるのに対し、唐門は書院（対面所）への正門である。桃山時代の豪華な装飾彫刻を充滿した檜皮葺き（ひわだぶき）・唐破風（からはふ）の四脚門（しきゃくもん）です。総漆塗りで、その彫刻の見事さに日の暮れるのを忘れることから「日暮らし門」とも呼ばれています。



（本願寺HPより抜粋 <https://www.hongwanji.kyoto/>）



# 新年のご挨拶

## 新年を寿ぎお祝いを申し上げます。



公益社団法人京都府柔道整復師会  
会長 林 啓 史

公益社団法人京都府柔道整復師会は、関係各位をはじめ多くの方々に支えられ新年を迎えることができました。皆様方のお陰と心から感謝しております。本年も認定を受けました公益社団の名前に恥じない事業計画達成に向けて鋭意努力してまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

昨年の後半には、国内外におきまして、良しきにつけ悪しきにつけ多くのことが起きました。後者の方が圧倒的に多かったような気がいたします。いろんな出来事に対して私なりの考え・感想が頭の中によぎり、文書にして明確にしたいと感じていたところ日経新聞論説委員のコラム“核心”（11月18日朝刊9ページ“波乱なき完勝の深刻度”）を読み、その論説に共感しましたので、抜粋・複写して茲許ご紹介いたします。

- ❖ 国家や社会よりも「自分のこと」が優先され財政健全化や地球温暖化のような将来世代に及ぶ長期的な課題よりも目先の便益を追求する構図が定着する。エコノミーならぬ「エゴノミー」と仏経済学者が命名する。
- ❖ 「理性に対して感情の噴出が勝ち誇る状態になった。」と世界の選挙の潮流を分析するのは谷口東大教授だ。政治資金問題と生活苦への怒りが自民党と公明党を小数与党に追いやった。右派、左派の双方で人気取りの政策を志向する政党が少しずつ伸び「日本にもついにポピュリズムの政党が芽を吹いてきた。問題は国民民主党が求める所得税の非課税枠の大幅引き上げなど景気刺激的な政策が逆効果となる展開だ。証券業界関係者は「労働力が減って完全雇用に近い中で財政をばらまけばさらにインフレにつながる。実質金利の低下で円安になり、さらにインフレが進む。そんな政策が本当にいいのか」と。
- ❖ 先進国の民意が人気取りの勢力に傾く動きに責任政党がいかに歯止めをかけられるか。西側の結束の乱れや国力低下は強権国家に隙を与える。一変する世界環境と民意に政治がどう向き合うか。極めて重い問いだ。

もちろん、多種多様な考え、見方はあります。世の中の動きをよく見定めて議論し熟慮し理解して世の中の動きを予測することが、会の運営にも全く無縁なことではないと、さらに考えを深めて行くようにいたします。この文章が皆様の目に入るときには、国内外において情勢がどのように推移しているか非常に気がかりです。

引き続き、EBM(Evidence - Based Medicine「根拠に基づく医療」)について記述いたします。国民医療の一部を担う柔道整復術の科学的検証を行い「柔道整復学の構築」のために、日整は優先課題としてプロジェクトを立ち上げ4年の年月をかけて943ページの「『柔道整復学』構築プロジェクト報告集」が2008年3月29日第I版に刊行されました。発端は、京都府柔道



整復師会第9代会長でありました日整元会長 原 健先生が社団法人設立50周年記念式典の式辞で述べられた「柔道整復師の源泉は推古天皇の時代にさかのぼり、世界に例のない歴史を持った民族医学であります。2002年に柔道セラピーとしてWHOに認知いただき世界に発信できるようになりましたが、柔道整復師に伝えられている歴史的先人の技術にEBMを加味しつつ、学問としての柔道整復を完成することが急務であります。」(柔道整復学1ページ 日整 萩原 正元会長挨拶から引用)の発言で、医師 信原克哉先生を最高顧問にいただき柔道整復学構築を目指し柔道整復学推進本部が結成されて冊子を完成させるにいたりしました。その目次は、大きくA分野B分野に分かれ、それぞれに1. 伝統医学、2. バイオメカニクス、3. 基礎医学、4. 臨床医学、5. 治療学、6. 柔道整復学、7. その他の項目からなり、終わりにプロジェクトへのコメント、まとめがある構成になっています。外部にも論文を募集して師業を学問としての理論体系を確立するために多大な人力、財力、時間を費やして集大成されたものを、その後日整学術部が引継ぎ現在に至ります。内容的に価値のあるもので、今でも十分に役に立つものです。この冊子がレガシーとならないように十分活用され続けることを願います。

柔道整復も、日本固有の「伝統医学」の名のもとで安穩とすることは許されません。鍼灸のジャンルにおいては中国、フランスなどでは国際的に医学としてのカテゴリーでかなり医学的、科学的理論の裏付け研究は進んでいるようです。日本でも大学の医学部レベルで解析・研究が行われているところが出てきています。身近なところで、柔道整復にとって超音波観察装置による解析が“EBM”をビジュアルな形で明らかにされております。臨床の場での活用が拡大していくものと予測しております。

昨年6月10日、会長に就任して半年、所信表明で申し上げたことは、座右の銘とし実行してまいりました。インクルージョン(包摂性)の件につきましては多くの社会現象で目にするものが多くなりその大切さを実感しております。世間を大きく騒がせた、いや、喜ばせてくれた大谷翔平選手が、ドジャースに入団一年目で、ワールドシリーズ優勝に貢献した件で、注目したいのは、チームの選手たちが異口同音に評価していたのは「大谷選手は個人の実績より球団が優勝することを優先して、そのためにあらゆることをやっている。お陰で大切なことを学んだ。」と述べている。コメンテーターではなく現役の選手を認識させたところに偉大さを感じます。そしてその行動がチームだけではなくファン、野球界、スポーツ界、社会までも啓蒙し、その効果が多岐に波及することになりその普遍性が証明されることとなります。おそらく大谷選手は、インクルージョンを理論的に学んだわけではなく、体験して身についたものではないでしょうか。また、共感・共鳴し、絆を作り、協調と共生を醸す方法を日本人であるがゆえに身につけていたともいえるのではないのでしょうか。謙虚で、控えめで、礼儀正しく、よく気がつき、行き届き、言語だけでなく高い身体的コミュニケーション力を持っていると帰結できます。

インクルージョンだけでは完結せず、同時に、ダイバーシティ(多様性)、エクイティ(公平性)と合わさり成り立ち、この三つが一体のものであることを理解して行動することで効果が相乗し理想のものとなります。

年頭のご挨拶としてはふさわしくないものとなりましたが、ご容赦願いたく存じます。特に会員の先生方には、会をお祭りのお神輿として一丸となって担ぎ上げ、愛着をもって運営に関与していただくことをお願いするとともに、会館の利用を惜しまず一堂に会する機会が多くなるように、工夫してまいります。全身全霊で会長の職責を果たしていくことをお約束して年頭のご挨拶といたします。



# 新年のご挨拶



公益社団法人日本柔道整復師会  
会長 長尾 淳彦

新年あけましておめでとうございます。  
新春にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

日本柔道整復師会業務の円滑な遂行のため、京都社団の会員の皆様には多大なるご協力を賜り心より感謝申し上げます。

私たち柔道整復師の組織を構築そして運営していく過程で忘れてはいけない大切な要素は「柔道整復師が社会に貢献する」ということです。

当たり前のことですが、柔道整復の業により社会に貢献して、その業により私たちの生活が成り立たなければなりません。昨年の業界の経営実態調査から日整会員の80%が療養費での収入が1000万円未満となっており約50%が年収500万円未満であります。

柔道整復療養費を「保険」料金、療養費の支給基準の算定項目ではないが国家資格者として柔道整復師が行えることを「保険外」料金として「接骨院」「整骨院」という施術所で柔道整復術を国民のために堂々に行えるように真剣に取り組みます。「自費（自由）施術」や「回数券販売施術」などは無資格者でも出来ることを指すと捉えたほうがいいです。

最低賃金が全国時給1000円前後で推移しています。1部位後療料、電療料、温罨法料併せて613円では公定価格で運営している柔道整復師は物価高騰や電気代の高騰などを価格転嫁出来ません。療養費の支給基準に沿った「保険」と国家資格者である柔道整復師が行える「保険外」を明確にして柔道整復術を必要とする国民にそれを提供することが重要です。

柔道整復師の業務範囲の一部に柔道療養費における柔道整復師の業務範囲があります。柔道療養費における業務範囲を守ることは必要ですがそれが柔道整復師の業務範囲の全てではありません。

患者さんである国民、支払い側である保険者、制度を司る行政の三者、そして我々柔道整復師が納得する制度設計とその運営を行えるように努力いたします。

現状に見合った支給基準の設定、患者である国民のために創設された「受領委任の取扱い」制度の維持についても引き続き努力いたします。

林 啓史会長を先頭に更なる京都社団の発展をお祈りして新年の挨拶といたします。





## 京都からいのち輝く未来を切り拓く



京都府知事 西脇隆俊

明けましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震が発生し、8月には初めて南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されました。改めて「危機管理」がいかに行政における根幹的な役割であるか、ということを感じた一年であり、新しく整備した常設の危機管理センターを拠点として、全ての営みの土台となる府民の皆さまの安心・安全の確保に全力で取り組んでまいります。

一方で、昨年は府立植物園や京都丹後鉄道・宮津線が100周年を迎えるとともに、国内最大規模の国際スタートアップカンファレンス「IVS」を2年連続で京都で盛大に開催し、次の100年に向けて多様な価値を生み出していく新たな一歩となった一年でもありました。

「万巻の書を読み、万里の道を往く」。これは「最後の文人画家」と称された富岡鉄斎の座右の銘です。書物を読み各地を巡って多くの事象に触れることを実践した彼は、その経験の中から多様な価値を見出しました。都として交流の中心地であった京都には、鉄斎のような人々や文物が行き交い、そうした交流の中から人々の心の発露が文化という価値となって、京都から各地へもたらされました。新しい価値は絶え間のない交流から生まれます。文化庁とも手を携えつつ府内各地の多彩な文化の掘り起こしや磨き上げを行い、京都が守ってきた「人のつながり」を大切に、誰もが未来に夢や希望を持てる「あたたかい京都づくり」をさらに進めてまいります。

さあ、いよいよ大阪・関西万博が開幕します。日本における最初の博覧会が1871年にここ京都で開かれて以来一世紀半。今も昔もイノベーションが京都で生まれ続けているのは、技術の進歩を人々の幸せに結び付ける文化と心根が京都に息づいているからにほかなりません。今こそ私たちが大切に受け継いできた「継承」と「創造」の精神で新しい価値を生み出し、世界の人々を府内各地へいざない、大きな交流をつくり出すことで、京都からいのち輝く未来を切り拓きたいと考えております。

今年、再生と変化を象徴する巳年。時流を柔軟に捉え、努力を重ねながら、皆さまと共に進んでまいり所存です。今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



## 市長年頭あいさつ ～京都のまちを未来に繋ぐ～



京都市長 松井孝治

あけまして、おめでとうございます。

新たな年の始まりに、京都府柔道整復師会の皆様の御多幸をお祈りいたします。

市長就任から、間もなく1年が経とうとしています。この間、「市民対話会議」を開催し、様々な立場の皆様と直接、対話するとともに、時間の許す限り京都のまちを歩き、京都に暮らし、働く方々との出会いを通じて、まちのあり様を私なりに見つめ直してきました。

京都の特性とも言える「まち柄」を確認する中で見えてきたのは、京都の課題と大きな可能性です。

地域コミュニティや文化、伝統など、京都を支えてく

ださっている担い手の減少や、就職期や結婚・子育て期の方々の市外流出、一部の観光地での混雑やマナーなどの観光課題、更にはオフィス空間の不足等といったまちの課題を改めて認識しました。

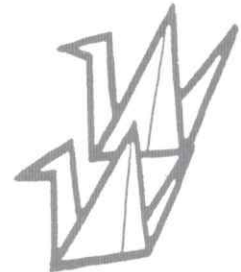
一方で、京都が受け継ぐ文化や価値観を魅力に感じ、多彩な人々が訪れていることや、発展に向けたポテンシャルのあるエリアの存在、そして、まちづくりの現場で活躍する大学生などの若者の姿などに大きな可能性を感じています。京都で育まれてきた自治の伝統と心意気を生かし、まちを次代に繋いでいくためには、人と人との垣根を低くし、多彩な担い手を結び付けていく必要があります。

昨年は、京都市の喫緊の課題である人口流出を抑制するため、若者・子育て世帯の定住を促進する「京都安心すまい応援金」を創設するとともに、観光混雑対策として全国初の「観光特急バス」の運行開始など、これからのまちづくりの芽出しとなる事業を展開しました。

更には、京都の「まち柄」など本質的な価値や強みを継承・発展し、令和9年度までに取り組む政策等をまとめた「新京都戦略（骨子）」をお示ししたところです。

今年の干支は乙巳（きのとみ）です。努力を重ねながら物事を安定させていく意味が込められています。これまでの取組の芽吹きを大きく育てていくため、令和7年度は、新京都戦略に基づき、多彩な人々が集い、誰もが個性を生かして活躍できる、すべての人々に「居場所」と「出番」のある社会の実現に全力で取り組んでまいります。

現在、京都市のまちの未来像となる「長期ビジョン」の策定に向けた取組も進めています。これからの時代を担う若者はもちろんのこと、京都で働き、学び、憩う多様な市民の皆様「自分ごと」として京都の未来を考えていただき、多くの声をつないで未来を構想してまいりますので、是非、皆様の思いをお聞かせください。



# 新年のご挨拶



一般社団法人京都府医師会  
会長 松井道宣

明けましておめでとうございます。

公益社団法人京都府柔道整復師会の皆様におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より、府民の健康増進に寄与し、柔道整復師としての資質向上、生涯教育など様々な面においてご尽力されておられますことに、深甚なる敬意を表します。

さて、いよいよ本年はいわゆる団塊の世代が75歳以上になり、全人口の約18%が後期高齢者という超高齢化社会となる「2025年問題」を迎える年となります。人びとの幸福の原点は健康にあり、地域の人びとが安心して住み慣れた場所で生活を続けるために

は、地域医療の一層の充実と地域包括ケアシステムの推進による次世代のための「まちづくり」が必要であり、医療関係者が一丸となって取り組んでいかなければなりません。

少子高齢化が進み、支えられる世代に比べて支える世代が減少する社会において、労働人口の減少は大きな課題であり、加えて、昨今の急激な人件費の増加、物価高騰などもあいまって、医療分野では非常に経営が厳しい状況にあります。さらに、公定価格で運営される医療分野では、コスト増加分を価格に転嫁することができないことから、人材が他産業に流出することが懸念されるなど課題が山積しております。

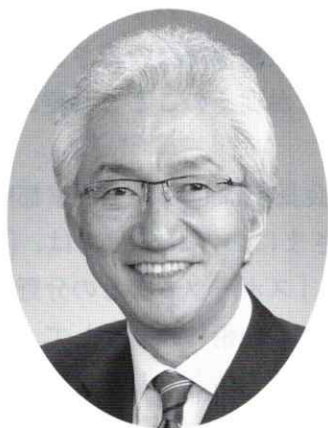
京都府医師会といたしましては、貴会をはじめとする医療関係団体との更なる連携強化を図り、医療・介護・福祉の発展に尽くしてまいりたいと考えておりますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、貴会の今後のますますのご発展とご活躍をご期待申し上げますとともに、本年が会員の皆様方にとって良き一年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





## 新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問  
自由民主党京都府支部連合会 会長  
参議院議員 西田 昌 司

新春の候、皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

公益社団法人 京都府柔道整復師会顧問として、林 啓史会長はじめ、京都府柔道整復師会の会員の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

令和7年、巳年を迎えるにあたり、巳年は「これまでの努力の成果が大きく実を結ぶ年」と言われております。この言葉の通り、皆様がこれまで積み重ねてこられた努力が、今年大きな成果として実ることを心より願っております。

昨年一年間も、京都府柔道整復師会の皆様には、患者様の健康を守るため日々の治療に留まらず、柔道大会などスポーツ大会での救護ボランティア活動など、様々な形で地域医療の発展に大きく寄与していただいた

たことに心より深く感謝申し上げます。

超高齢化社会が進む中、医療制度の変革に柔軟に対応し、患者様の多様なニーズに応えるための新しい取り組みも積極的に取り入れ、より良い医療サービスを提供するための環境を整えることが求められています。高齢化が進むにつれ、伝統的な「骨接ぎ」の確かな知識と技術を持つ柔道整復師の役割は、今後ますます重要となり、地域社会において欠かせない存在となっています。

今年も引き続き、柔道整復師のスペシャリストとして、培われた経験と実績を基に、研修会や講習会を通じて、新たな知見を学び、専門知識や技術を磨き、次代に沿った新たな取り組みにもチャレンジしていただき、これからも府民のために地域医療の一翼を担っていただくことを切にお願い申し上げます。

私も地元京都の国会議員として、国民と京都府民の皆様が健康で幸せな生活を送るため全力で取り組んで参ります。引き続きのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、令和7年が皆様にとって飛躍の年となり、公益社団法人京都府柔道整復師会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。



## 新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問  
参議院議員 吉井 章

新年あけましておめでとうございます。

公益社団法人京都府柔道整復師会の皆さまにおかれましては、輝かしい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より、林 啓史会長をはじめとする京都府柔道整復師会の会員の皆さまにおかれましては、「医療」「介護」「福祉」「救護」「スポーツ」などの分野において、会員の先生方の丁寧な施術によりまして、京都府民の皆さまが、健康的で生き活きとした日常生活を送れるよう、日々研鑽を積み、各種講習会の実施やスポーツフェスティバルにおいての救急救護隊の派遣、柔道を通じた青少年の健全な育成を目指す幅広い社会貢献活動などにも多大なるご尽力をいただいておりますことに深甚なる敬意と感謝の意を表します。

京都府選出の国会議員として、まずは景気回復・経済再生、そして、「領土・領空・領海、自分たちの国は自分たちで守る」「国民の生命と財産を守る」という強い信念のもとに、外交・安全保障政策の構築をはじめ、今こそ、国民の皆さまが安心安全な生活ができますよう全力を投入して参ります。

また、本年は乙巳の年で、努力を重ね物事を安定させていく年とし、京都府柔道整復師会の皆さまが、安心して患者さんと向き合っていただけるような施策の充実を図り、ご要望にもお応えできるように、今後も力を尽くして参りますので、引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げますとともに、公益社団法人京都府柔道整復師会の今後益々のご発展と、会員の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。





## 新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問  
元衆議院議長 伊吹文明

新年明けましておめでとうございます。

京都府柔道整復師会の皆さまには、今年がおだやかな良き年であることをお祈りし、変わらぬご厚誼をお願い致します。

昨年は温暖化による異常気象、かつてなかった災害等、科学のもたらす便利さ、快適さを際限なく使ってしまう人間の業への自然の怒りを受けた年でした。また、ウクライナや中東でも、人間の理性より各々の主義・主張がまかり通ることによる紛争や戦争で、結果として多くの人命が失われています。今年はまだ一人ひとりが理性を取り戻し、自己抑制と矜持による世界秩序、人間社会を取り戻す年であってほしいと願っています。

私も衆議院議員を引退してもう4年目になります。昨年の総選挙での自民党の少数与党への転落、その原因となった議員一人ひとりの順法精神や規範意識は当然のこと、法で許されても我慢する「選ばれた者の義務」の欠如を思う時、政策以前の失敗による政治の混乱が国民生活の混乱とならぬよう、後輩の皆さんにも一人の有権者として必要なことは率直に申し上げたいと思っています。

広く国民に受け入れられてきた柔道整復術も、自由診療を除いては療養費払いという公的保険制度に基盤をおいている以上、負担と給付のバランスのなかで有効かつ効率的に治療が行なわれねばなりません。先生方が将来とも有効な施術者として認知され、尊敬される存在であり続ける為にも、管理柔整師制度を適正かつ厳格に運用し、日本柔道整復師会を中心に職務に関する研修を重ね、社会的に批判を受けている一部の柔整師とは一線を画し、国民・患者の為のご努力とご研鑽をお願いしたいと思います。その姿勢を受けて、後輩の柔整師顧問団の議員の方々も制度改革や療養費改定等で一層の協力をしてくれればいいと思います。

なお、東京と京都に引続き事務所を残していますので、お気軽にお立ち寄り頂ければと存じます。

結びに、京都府柔道整復師会の今年のご発展と皆さまのご健勝をお祈りします。

托鉢の 雲水湯気だす 寒さかな



## 新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問  
前衆議院議員 田中 英之

新年あけましておめでとうございます。

公益社団法人京都府柔道整復師会の皆様におかれましては、お健やかに令和7年の新年を迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。

林 啓史会長をはじめ会員の皆様には、平素より私の諸活動に温かいご理解とご支援を賜っておりますことに心より御礼申し上げます。また、昨年は多大なるご支援をいただき、ありがとうございました。衷心より感謝申し上げますとともに、この御恩に報いるべく、これからも全力で働き、皆さんのお役にたてるよう、尽力することをお誓い致します。今後も変わらぬご指導賜りますようお願い申し上げます。

さて、医療職種である柔道整復師は我が国が認めた国家資格であるのはいうまでもありません。日本の伝

統である柔道整復は医療のみならず、その高い精神性においても特筆すべきものがあります。確かな技術と知識に加え、人が持つ自然治癒の能力を引き出し、心と体を整えていく匠の技は、皆様の日々の研鑽により培われるものであります。「医療」「介護」「福祉」「救護」「スポーツ」等の分野を中心に、関わりを持たれるすべての人々が健康で生き活きとした日常生活を送っていただけるようご尽力いただき、私たちの身近な相談相手として、それぞれの地域においてご活躍くださいますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人京都府柔道整復師会の一層のご隆盛と、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたします。

本年が皆様にとって輝かしい年となりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。





## 新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問  
京都府議会議員 田中英夫

新年あけましておめでとうございます。

林 啓史会長様をはじめ公益社団法人京都府柔道整復師会の会員の先生方には、令和7年の初春をお健やかに迎えのとお慶び申し上げます。

先生方には、日頃より研鑽を積まれ、確かな知識と施術により患者さんの身体のみならず心の治療にも専心いただき、府民の健康維持向上にご貢献をいただいていますことに深い敬意と感謝を捧げます。

なお、昨年は府柔整師会におかれましては、社団法人設立70周年のお目出たい節目の年を迎えられましたこと、今日までの会員先生方が会と共に歩まれた尊い歴史に対しまして深甚なる敬意と心からのお祝いを申し上げます。

重ねまして、一昨年には長尾淳彦会長が日本柔道整復師会の会長にご就任され、極めてご多忙の中、引き続いて府会長も兼務されてご活躍いただいていたのですが、その間副会長として長尾会長を支え、貴会のご発展に尽してこられました林 啓史先生が昨年会長職を受け継がれ、今後も強いリーダーシップのもとでご活躍いただくこととなりましたこと、改めましてお祝い申し上げ、京都府柔道整復師会の力強い歩みと、今後益々のご隆盛を祈念申し上げる次第です。

結びにあたり、会員先生方にはご健勝にて日々お過ごしいただき、本年一年が皆様にとって最良の年となりますよう、併せて公益社団法人京都府柔道整復師会の益々のご発展と会員先生方のご繁栄をお祈りし、新年のごあいさつといたします。



# 新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問  
京都市議員 橋村 芳和

新年あけましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新年をお迎えされましたことを心からお慶び申し上げます。

先生方におかれましては、日本が世界に誇る伝統ある柔道整復を通じて市民の健康の増進のため、日々従事され、そのご活躍に感謝申し上げます。近年は健康長寿が大きく叫ばれる時代にあって、その社会的使命はより重要になっております。また、日整の少年柔道大会を通して、青少年の健全育成にも取り組まれておりますことにも敬意を表しますとともに、一層のご尽力をお願い申し上げます。

さて、昨年は京都府柔道整復師会におかれましては、公益社団法人設立 70 周年、協同組合設立 35 周年の大

きな節目の年でありました。

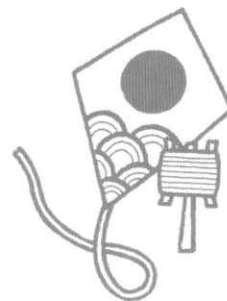
加えて長尾淳彦会長（公益社団法人日本柔道整復師会会長）の後任として林 啓史副会長が公益社団法人京都府柔道整復師会の会長に就任されました。改めてお祝い申し上げます。持ち前の強力なリーダーシップを発揮され、柔道整復師会を取り巻く諸課題の改善に向けて、今後益々のご活躍を期待致しております。

一方京都市におきましては、昨年 2 月に私が団長を務めさせていただいております自由民主党京都市議員団が中心となり、厳しい選挙を戦い松井孝治市長が誕生し、新たな市政がスタート致しております。会員の皆さまのご支援に心より御礼申し上げます。思い返せば平成 3 年の初当選以来、8 期 30 年間にわたり、京都市政の発展と私の地元である伏見区の躍進のため、京都市議員として仕事をさせていただいておりますことも、会員の皆様の温かいご支援とご指導のおかげであると強く実感致しております。重ねて厚く御礼申し上げます。

来る 2 月には、令和 7 年度の予算を審議する定例会が開会致します。幸い今年度は健康な暮らしを所管する環境福祉常任委員会に所属しておりますことから、日頃より皆様からいただいておりますお声をしっかり市政に反映をし、福祉と医療の先進都市京都の実現のため全力を尽くして参ります。

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに、京都府柔道整復師会の益々のご発展と皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。





## 新年のご挨拶



副会長 谷山和浩

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたりご挨拶申し上げます。日頃より本会の取り組みにご尽力くださる会員の皆様に大変感謝しております。

一昨年の役員改選にて副会長に就任し、早一年半が過ぎました。副会長として会長のサポート及び経理部・事業部・広報部の業務を担当しております。今後もリーダーシップを発揮し、本会を引っ張っていける存在になれるよう日々、精進してまいります。

新型コロナウイルスの自粛から解放され、京都では外国人観光客の姿を見ることも増え、社会活動は活発化していますが、施術所における患者さんの来院はコロナ禍前の状態には回復していない傾向が見受けられ、患者さんと向き合う機会が減少していることは柔道整復師として大変つらい思いをされている先生方も多いと思います。

本会もコロナ禍が明け、事業活動の機会が増えています。これに伴い費用は増加傾向にあり、経理部の面からは「効率化を推進しコストの減少」をしていきたいと思っております。事業部の面からは「効果的な事業活動」で社会にアピールをしていきたいと思っております。また広報部の面から

も「積極的な広報活動により本会の魅力を発信し新規会員の増加、特に若者への入会の機会を増やしていきたいと思っております。

現在、社会情勢は大きく変化しています。少子高齢化や経済のグローバル化、情報通信技術の発展に伴うサイバー空間及びAIの拡大などが進行しており、これらの変化は私たちの業界にも影響を与えています。また、気候変動による自然災害の頻発化や、経済の不安定さも課題となっています。

柔道整復師を取り巻く環境も厳しい状況が続いています。接骨院や鍼灸院の数は増加している一方で、患者数は減少傾向にあり、競争が激化しています。さらに、少子高齢化に伴い、主要な患者層である高齢者とともに、若年層の患者数が減少していることも課題です。また、接骨院でのマイナ保険証の導入・運用が始まりコンプライアンスの強化が求められる中で、柔道整復師の質の向上が急務となっています。これらを一度に解決するのは大変困難ですが、本会ではリスク管理委員会を立ち上げ、柔道整復師の質の向上に役立てられればと構想中です。

京都府柔道整復師会は「マンション経営」「推進センターの運営」で安定した収入を得ています。別館を含め収支のバランスをとれるよう遂行していき、全国の柔道整復師会の先駆けとなるよう活動してまいります。

これに伴い「ガバナンスの強化」「業務のシステム化」の体制を整えていく必要があると考えます。

収入の減少が引き続き見込まれますが、協同組合を活用した本会の運営を行い理事者一丸となり明るい未来を見据え、会員の皆様方のご支援をいただき全うしたいと存じますので、今年も何卒ご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



## 新年のご挨拶



総務部長 岡田 達也

公益社団法人京都府柔道整復師会会員の皆様方、並びに関係各位におかれましては令和7年の輝かしい新春をお迎えになられた事を心よりお慶び申し上げます。

一昨年6月に理事に再任させて頂き、長尾淳彦前会長から総務部長を任命されました。昨年長尾会長が公益社団法人日本柔道整復師会会長に専念される事を理由に勇退され、その後理事の互選にて決定された林 啓史会長からも継続して総務部を担当するように命を受けました。長尾前会長から「総務部は俯瞰的に物事を見ること。本会会員全員、理事全員を見渡し、本会業務の執行と連絡調整を行って欲しい。」と言われました。コロナ禍が終息した令和6年は様々な行事が開催され、本会全体を見渡し会務執行したつもりです。令和7年も変わらず多種多様な業務が予想されますが、日々体調を整えて臨みたいと思います。

昨年1月1日は皆様ご承知の通り、能登半島で大地震が発生しております。私事ではありますが、妻の実家が羽咋郡志賀町にあり当日被災

しました。家屋内で震度7を経験し倒壊はしませんでしたでしたが、滅茶苦茶な状態の中で津波からの避難で走った事は強烈な出来事の一つでした。余震におびえながら近所の方々と一緒に中学校の3階で一夜を明かしました。また、その片付けの為に8月に実家に行った時も豪雨による甚大な被害があり2重苦となりました。

新年早々に重苦しい話となりましたが、自らが経験したことを基に災害時の連絡体制や、備蓄品の重要性、災害時の被害減少化対策の必要性を本会運営に落とし込みたいと考え実行させて頂きました。また、柔道整復師として介護予防及び介護事業を通じて、転倒による骨折等の怪我が原因で生活が一変する事は、災害発生と同じ事と捉えています。

一寸先は闇と言われますが、日々の準備や注意で防げることは防ぎ、毎日やり残す事や後悔をする事が無いように生活しようと誓いました。本年6月15日に予定されている令和7年度総会において、役員改選が行われます。任期満了までやり残す事がないように走り抜きたいと思えます。





## 新年のご挨拶



経理部長 面村 美紀

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より、公益社団法人京都府柔道整復師会の活動にご支援とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

2024年は、国内外でさまざまな変化が起きた一年でした。特にアメリカの政権交代は、世界の医療政策に影響を与える可能性があり、その影響が日本の医療制度や業界に波及することが懸念されます。また、日本国内では政治の不安定さが続いているうえに、私たちの業界にもさまざまな変化がありました。特に、医療分野で進むデジタル化が大きな話題となり、私たちも診療や保険請求の手続きを効率よく進めるために、新しいシステムを導入しました。こうした状況の中、私たち柔道整復師は、地域医療を支える重要な役割を担っています。

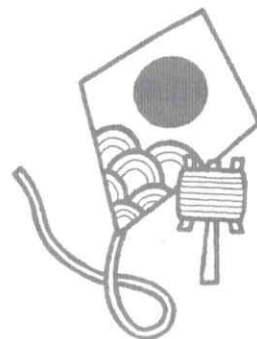
経理部としましては、去年の物価高騰やエネルギー価格の上昇などが事業運営に影響を与える中、持続可能な運営を続けるためのコスト削

減と効率化にも注力しました。それに伴い新しい会計システムの導入準備を進めています。このシステムにより経費削減と業務効率化を目指しております。

今年も、引き続き皆様の活動を支えるため、会の財政管理をしっかりと行い、効率的で透明性のある運営を進めてまいります。

また、女性の社会進出が進む中、私自身女性理事として、多様な働き方や柔軟な職場環境づくり、コンプライアンス体制に貢献したいと考えております。会員の皆様が安心して業務に専念できるよう、柔道整復師会がより良い組織となるよう力を尽くしてまいります。

2025年も、柔道整復師の重要性を社会に広め、地域医療に一層貢献できるよう、会員の皆様と力を合わせて歩んでいきたいと思っております。会員の皆様とご家族のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、そして当会のさらなる発展に微力ですが尽力することをお誓い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶



保険部長 中村 英 弘

新年あけましておめでとうございます。

会員の先生方、ご家族の皆様、関係各位におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、保険部の事業運営に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年12月2日より健康保険証の新規発行が廃止され、マイナンバーカードによる資格確認が義務化されました。これに伴いまして、先生方にはカードリーダーなどの設置をお願いしてご理解とご協力をいただき、あらためて御礼申し上げます。この制度の導入により、カードリーダーやスマートフォン、タブレットなどで、氏名、性別、生年月日、保険者番号、保険者名、被保険者証の記号・番号、被保険者氏名、被保険者証の有効期間、本人・家族の区別などが読み取れ、目視により顔写真による本人確認、マイナ保険証に記載されている住所などを確認することにより、施術所での保険資格確認が今までよりも正確かつ迅速に行えることになるでしょう。

保険情勢も昨年の料金改定により明細書の発行が義務化されたり長期頻回通減の変更がなされたりしましたが、これも療養費の適正化に準じた改定であると思っております。

しかし、保険者より一定の基準を超えた患者調査や、受療制限につながるような働きかけが今もなお一部の保険者により行われている事実もあります。保険証を持参され来院された患者さんに対して、問診表への記載や直接聴取することにより負傷原因などを把握して保険施術の範囲かどうかを判断し、それを施術録に正確に記載しておくことで、負傷原因の相違や長期施術・多部位施術による保険者からの照会があった時もその施術録に基づき回答することで問題は起こってこないはずであると考えています。

施術者も患者さんも記憶というものは時間が経つにつれ薄れて曖昧になってくるものです。そうした時のためにも施術録の記載や整備は必要不可欠なものになり役立つものにもなってきます。

患者さんが接骨院に来院されて安心して施術を受け、痛みや苦痛から一日も早く解放され日常生活を過ごしていただくために、私たちは日々研鑽を続け、保険制度を遵守することにより患者さんから信頼される柔道整復師であり続け、また施術を受けたいと思っただけの接骨院でありたいところです。

そして、今後も柔道整復術が連綿と続き守られ、さらに発展していくことで、患者さんのための受療委任払い制度を維持していけることと思っております。

今年も先生方や関係各位のご協力をいただき一年間業務を進めていきたいと思っております。

保険部の事業運営に格別のご支援を賜りますことをお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



# 新年のご挨拶



学術部長・保険部副部長  
今井雅浩

新年明けましておめでとうございます。  
皆様には新年をお健やかに迎えになられたこと  
とお慶び申し上げます。

## ■柔道整復新時代に向けて

10月に開催されました第47回近畿学術大会和歌山大会には京都から3題の会員発表、2題の学生発表をいただきました。また多数の会場参加、オンライン参加をいただき厚く御礼申し上げます。今回より論文集は電子ブック化し、日整「匠の技伝承プロジェクト」の講習も本格化しました。「匠の技伝承プロジェクト」では超音波エコー観察と伝統的な整復固定実技講習により、「日整水準の構築」「全国会員施術所の平準化」に取り組み、柔道整復新時代を迎えようというのが趣旨で、いよいよ「都道府県技術講習会」も始まります。

今年度の日本柔道整復接骨医学会では、「柔道整復師～多様性の時代をどう生きるか」というメインテーマが採用され、従来の固定観念からの脱却が求められる時代となっていることが強く感じられます。

第45回近畿学術大会京都大会 参加登録者【属性・年齢分布】

日整会員	認定数	～30歳	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳～
京都府	93	2	5	28	34	19	3	2
滋賀県	41	0	1	9	17	14	0	0
奈良県	14	0	2	3	5	3	0	1
和歌山県	35	0	2	5	17	7	0	0
兵庫県	37	0	2	5	17	8	5	0
近畿計	220	2	12	50	90	51	8	3
愛知県	4	0	0	1	1	2	0	0
岡山県	2	0	0	0	0	1	1	0
大分県	1	0	0	0	1	0	0	0
栃木県	2	0	0	1	0	1	0	0
富山県	3	0	0	0	0	0	3	0
他地区計	12	0	0	2	2	4	4	0
日整計	232	2	12	52	92	55	12	3
非会員柔道整復師	1	0	0	1	0	0	0	0
参加柔道整復師計	233	2	12	53	92	55	12	3
年齢構成比率%		0.8	5.1	22.7	39.5	23.6	5.1	1.3

和歌山大会論文集P4にも掲載しました第45回近畿学術大会京都大会（R4年）の参加登録者（属性・年齢分布）をご覧ください。

50代、60代、次いで40代となっていて、30代、30歳以下の参加者は極端に少なくなっています。

この現象を少子高齢化と言われる方もおられますが、20代～40代の柔道整復師は2000年以降急増しており日本中にいっぱいいます。我々の学術大会にこの世代が非常に少ない『限界集落化』という捉え方が適切だと思います。

集落の50%超が65歳以上になると、『限界集落』ということなので、今は一歩手前の『準限界集落』という状態ですが、確実にカウントダウンは始まっています。

『限界集落』になると集落だけで社会活動ができなくなり、人口流出がさらに加速し、最終的には無人化、ゴーストタウン化します。なので、会員の先生方、役員の先生方には、そういう観点でご理解ご協力いただき、学術部の新時代に向けた活動を応援していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

【学生・若い柔整師の学術大会参加促進の必要性】学会や我々の団体の運営を活性化・持続化させるには20代30代の若い世代が欠かせない存在だと思います。

学術部は学会、講習会を通じて、学生や若い先生との接点を作り、職能団体としての柔道整復師会の活動に、参加してもらいやすい環境を作り、将来の入会につなげるという最前線に立つ使命があると考えています。この20年、このあたりが疎かになっていたツケが、今の状況を生んでしまったというのが、近畿学術委員会で出した結論で、そういった観点に立つて取り組む必要があると考え、学術委員会の活動指針を策定しました。

## ■学術部の活動指針について

- ◎超音波エコー導入施術所の増加
- ◎学生や若い柔道整復師の学術大会参加数の増加
- ◎学術的な論理的思考で、柔道整復師一人一人が共通課題の解決に向けて意思統一し、一体感を持って業界再構築に取り組む
- ◎柔道整復師の業務拡大を目指し、その専門性を活かした社会貢献ができるような提言を内外に向け発信していく

◎近未来の柔道整復師にあるべき姿、理想像を示す  
活性化・持続化させるというのは大変難しい問題で、一朝一夕にどうこうなるとは思いませんが、地道にこういった活動の積み重ねで、業界を再構築するのが、結局一番の近道だと考えています。また、それが職能団体のあるべき姿だというのが結論です。

本年も諸問題にいち早く適切に対応すべく、より一層業務に精励してまいりますのでご協力ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、会員の皆様、ご家族、関係各位のご健勝とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 新年のご挨拶



事業部長 兼 田 旭 紘

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、健やかで素晴らしい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。昨年中は、皆様方の温かいご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

昨年は、京都府柔道整復師会として、地域の皆様の健康と福祉の向上を目指し、さまざまな活動を行ってまいりました。特に、柔道整復師としての使命を感じる場面が多く、皆様の期待に応えるべく、精一杯の努力を重ねてきた一年でした。

その中でも、少年柔道大会を開催し若い柔道家たちが集うこの大会では、技術だけでなく、スポーツマンシップや仲間との絆を深める貴重

な機会を提供することができました。大会の安全と円滑な運営を支えるために、私たち柔道整復師会としても、選手たちの試合中のケガに備えた救護活動は、大会の成功にとって欠かせない重要な役割を果たしました。

また、昨年は地域で行われるスポーツ大会における救護活動にも積極的に関わり、地域社会における柔道整復師の重要性を改めて実感することができました。医療従事者としての責任を胸に、どんな時でも迅速かつ適切な対応ができるよう、引き続き研鑽を積んでいく所存です。

新しい年を迎えるにあたり、私たち京都府柔道整復師会は、これまで以上に地域の皆様に貢献できるよう努めてまいります。特に、子どもたちや高齢者の健康を支えるため、予防活動やケガの早期対応を充実させ、地域に根ざした活動を展開していく所存です。今後とも、皆様とともに健康づくりに力を尽くしてまいりますので、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年も、柔道整復師会の一員として、地域社会に貢献できるよう、誠心誠意取り組んでいく所存です。どうぞ、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

皆様にとって、幸多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



## 新年のご挨拶



広報部長 中川 稔 貴

あけましておめでとうございます。旧年中は広報部に対しまして、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。新春を迎え皆様、ご家族様にとって幸せな一年になるよう祈念申し上げます。

昨年は猛暑が長く続き、春と秋の良い季節が短く感じました。また、地震、集中豪雨などが相次ぎ、被災された方々にはお見舞いを申し上げますと共に、皆さまが一日でも早く健やかな生活に戻られることを願っています。

令和6年度定時総会にて、長尾淳彦先生が日本柔道整復師会の業務に集中したいとのことで、公益社団法人京都府柔道整復師会の職を辞されることとなりました。任期1年を残しての会長の交代でしたが、林啓史理事が推挙されて、第13代会長とされました。理事として新会長を支えて参りたいと思っています。

さて、製造販売やサービス業を生業とする職業では、物やサービスに対する値上げが報道されています。実際に我々が日々手にする衣食住に関するものは、相当な値上げを感じます。また、我々柔道整復師も従業員を雇う時は、最低賃金を遵守しなければなりません。しかし、保険の施術における療養費改定は世の中の値上げに見合ったものとは乖離しています。家族や従業員を守っていくには、保険外の収入を考え

なければならぬ状況となっています。京都府柔道整復師会では、保険以外の収入モデルの紹介や、治療法・運動法を学んでもらう機会を提供します。また、柔道整復師の基盤となる「匠の技 伝承プロジェクト」をサポートして、柔道整復術の標準化を確立して国民の信頼を得て行きたいと思っています。

私は4年前に思うことがありまして、大学生になりました。今年卒業の年となります。最初に立てた目標、4年間で卒業、GPA（グレード・ポイント・アベレージ）3.2以上はクリア出来そうです。大学では「情報マネジメント」を学んでいます。勉強の内容は多岐にわたりますが、最新のITスキル、経営ノウハウ、AI活用術及び、経済、法律などを基に、情報分析を用いたマネジメントを勉強してまいりました。特に行動経済学に興味をもち、今も勉強中です。この学びの中で、柔整師業界の中で何が起きているのかを多方面から分析して、実践して皆様にお伝えできればと思っています。

最後に、広報部の活動では、京柔整会報（広報機関誌）や京都府柔道整復師会ホームページにおいて本会の活動や情報を公開して、行政、保険団体、国民に柔道整復師・柔道整復術の周知と理解いただく活動を行っております。さらに、本会会員と他団体、個人契約者との差別化をする為に、接骨院・管理者の情報の公開、「講習会・研修会履歴」において一般の方に向けて本会会員先生方の勉学心と、保険に関する情報収集の取り組みへの評価材料を提供しています。さらに会員専用ページでは、事務連絡、各部に関する情報や様式のダウンロードなども提供しています。また、Facebook、Instagramの運用もしております。随時、更新をしていますのでご確認下さいますとともに皆様からのご投稿および、ご意見をお待ちしております。

本年も引き続き執行部の一員として努力してまいります。よろしくお願いいたします。

京都府柔道整復師会ホームページ

(<https://kyojusei.com/>)

京都府柔道整復師会 Facebook

(<https://www.facebook.com/kyojusei>)

京都府柔道整復師会 Instagram

(<https://www.instagram.com/kyojusei/>)

## 新年のご挨拶



監事 弁護士 薦田 純一

新年明けましておめでとうございます。

会員の先生方やご家族を始めスタッフの皆様が、共に健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

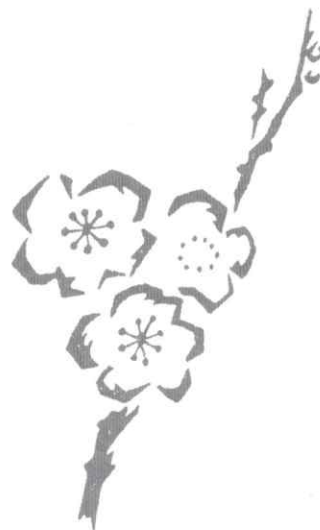
さて、令和7年度も引き続き監事の職務を委嘱され謹んで承りましたので、本年もどうぞよろしくお願い致します。今年度も引き続き「別館」の有効利用なども活発に行われ、京都府柔道整復師会の業容がますます拡充してゆくことについて、少しでも貢献することができればという思いを強くしております。

また、会員の先生方や患者さんに対する「終活」への備えも順調に啓蒙が進み、ご自分の財産の整理や引継ぎなどに対する準備への心構えも浸透し始めていることと存じます。そのようなお手伝いも出来ればと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

昨今の世界情勢の変動はめまぐるしく、会員の先生方を取り巻く環境の変化は著しく、取り残されないように日々努力されていることと存じますが、今年も会員の先生方やスタッフの方々と一丸となって前進してゆくことを願って、年頭のご挨拶に代えさせていただきます。

末筆になってしまいましたが、会員の先生方やご家族、スタッフの皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

以上





# 新年のご挨拶



監事 細川 義昭

新年明けましておめでとうございます。

平素より、会員の先生方やご家族の皆様方には、社団活動にご協力賜り、誠にありがとうございます。監事職を務めさせて頂いて3年半が経過致しました。会務にもようやく慣れて、少しはお役に立ててるのかなと思っております。これからも会長をはじめ理事の先生方のご助力を頂き、京都府柔道整復師会の発展のために精一杯頑張る所存ですので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

2024年6月に社団法人設立70周年、協同組合設立35周年の記念式典が多数の来賓をお迎えし、盛大に開催されました。

その前に行われた定時総会で、11年に渡り京都府柔道整復師会会長を務められた長尾淳彦

会長が日本柔道整復師会会長に専念したいという事で辞任され、新たな会長として林啓史先生が就任され、新体制が発足致しました。林新体制では「共感、共有、共生」というスローガンを掲げ、共に学び議論し、それぞれのスキルUPを目標とされています。超音波観察装置やLIPUSの勉強会を行ったり、オリンピック村上幸史講師による運動指導に繋がる講習会などの活用で、診療業務の幅を大きく広げ、集客や自費徴収で窓口収入を増やしたり、会員面談を通じて退会会員の減少を防いだり、新入会員の取り込みのための情報発信と問題解決に一步步ずつ取り組んでおられます。

現在の京都府柔道整復師会運営は、非常に困難な状況が続いておりますが、これらの試みは何らかの変化をもたらす一助になればと考えております。そのためには、監査業務である事業執行の正当性の判断、財政管理をしっかりと行う事は勿論の事ですが、執行部の一員として会員の皆様方の利益向上に繋がる業務の遂行に最大限にご協力させて頂く所存です。

先人達が築き上げて来た歴史ある柔道整復業界を守り、後世に正しく継承し更なる発展のために、皆様と団結して参りたいと思っております。

一層のご協力を賜りますように、宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、2025年が皆様方にとって希望に満ちた幸福な年になります事を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 新年のご挨拶



京都市伏見地域介護予防推進センター  
センター長 林 啓 史

京都市伏見地域介護予防推進センター担当地域にお住いの皆様、公益社団法人京都府柔道整復師会会員の先生方、並びに関係各位におかれましては令和7年の輝かしい新春をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年6月10日、公益社団法人京都府柔道整復師会会長に就任するとともに併設する京都市伏見地域介護予防推進センター長を兼任し今日にいたっております。

当センターは、京都市の委託を受け伏見区内（深草・醍醐地域を除く）の65歳以上の市民の皆様を対象に、介護を必要としない体作りを目指していただくお手使いをする活動を進めております。この制度は他府県ではあまり事例のない京都市独特の取り組みで、1行政区に1か所以上の推進センターを設置し、各地域の特性やニーズに合うように細やかな対応ができ

るシステムが導入されている素晴らしい制度です。もちろん科目にふさわしい専門職が担当し、安全、安心を万全にしております。

具体的には、重要項目である「運動や栄養・口腔及び社会復帰」に関わりテーマを策定、次いでプログラムを構築しこれを実践していく教室を開いております。これに多くの区民の皆様が参加されているところでございます。特に昨年からは科目を複合的に実行する教室が設置されました。例を挙げますと、一つの教室で体幹・四肢の運動と口腔嚥下体操を一体化してエクササイズする方式が取り入れられております。これは国が推奨するフレイル対策の3本柱である「運動、栄養・口腔と社会参加」をテーマにした目標を成就させることを目標にしてセンターは動いている証左です。

さらに、本年からは加齢性難聴の対策として、聞こえのチェックリスト等を活用し「早期の気付き」を目指し受診していただくことにより、加齢に伴う聞こえ難さをできるだけ遅らせる取り組みも予定しています。

人生100年時代とも言われていますが、単なる寿命の延伸だけでは空しいものです。それぞれの皆様が描くはつらつとした高齢期の暮らしをするには、日々の生活に運動を実践し、栄養摂取のために口腔機能を向上させ、気軽に外出し閉じこもりを防止することが最善策です。

特に対象地域の住民の皆様にはセンターを大いに利用していただき、令和7年巳年を益々ご健康になられご活躍されますようご祈念申し上げます。



# 新年のご挨拶



京都府柔道整復師協同組合  
理事長 長尾 淳彦

新年あけましておめでとうございます。

新春にあたり謹んでご挨拶申し上げます。京都府柔道整復師協同組合業務の円滑な遂行のため、加盟業者の皆様をはじめ関係各位の皆様には多大なるご協力を賜り心より感謝申し上げます。

本協同組合は平成元年7月1日に京都府からの認可を受けて設立されました。組合員は柔道整復術を行う接骨院・整骨院を営む国家資格を持った柔道整復師とその関係者で構成されています。

京都府中小企業団体中央会の中でも組合員数、事業規模はトップクラスを誇ります。

先にも述べた通り、京都府柔道整復師協同組合が設立されて本年で40年近い年月が経ち、蓄積されたノウハウとシステムは膨大で貴重なものです。

しかし、年数とノウハウは積み重ねましたがそれを有効活用出来ておりません。

今後は、これを有効に活かして再構築してフル活動させなければなりません。

具体的展開として、

1. 共同購買のさらなる優位性を活かしての良  
いものを適正価で簡単に購入できるシステ  
ムの構築。
2. 銀行とのタイアップによる施術所経営の資  
金的バックアップや経営診断やアドバイス  
など。
3. 組合員間の施術所移転や継承の仲介。
4. 勤務柔道整復師や研修施設の斡旋。
5. 京都府柔道整復師会会館の収益に係る管  
理・運営。
6. 生命保険、傷害保険、損害賠償保険の充実  
した取扱い
7. 学術研鑽のための研修会やセミナーの開催
8. 養成施設臨床実習地、勤務柔道整復師の研  
修施設の紹介斡旋。
9. 人間ドックなどの福利厚生に関する照会斡  
旋。

また、施術所に関わるものだけでなく、生活全般において必要な商品やサービスも提供できるようにしたいと思っております。

結びに京都府柔道整復師協同組合組合員並びに関係していただいている皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ新年の挨拶といたします。

# 保険講習会・運動療法ワークショップ開催

令和6年度第1回京都府補助金事業『運動器疾患対応力向上実施事業』

令和6年9月8日(日)午後1時から保険講習会・運動療法ワークショップ(令和6年度 京都府補助金事業第1回『運動器疾患対応力向上実施事業』)がLIVE配信と会場で開催されました。今井雅浩 学術部長の司会で始まり、谷山和浩 副会長の開会の挨拶、林 啓史 会長の挨拶がありました。



挨拶 林 啓史 会長



開会 谷山 和浩 副会長

次いで午後1時15分から、田村周三 保険部員の司会により、保険講習会が始まりました。

「令和6年柔道整復療養費料金改定について」 今井雅浩 保険副部長

「最近の保険情勢とオンライン資格確認について」 中村英弘 保険部長



中村 英弘 保険部長



今井 雅浩 保険副部長

午後2時から、運動療法ワークショップが久見達也 学術部員の講師紹介により始まりました。今回も株式会社 Y-TRAINING から、指導、サポートの3人に加えて役員の皆様も参加していただきました。今回は実技を中心に、会場を指導して回っていただき直接オリンピックの指導を受けられる、貴重な時間を体験できました。

【講 師】村上 幸史 様

- ～講師プロフィール～愛媛県出身、日本体育大学卒業。陸上競技(やり投)
- ・アテネ・北京・ロンドンオリンピック3大会連続 日本代表
- ・2009年 ベルリン世界陸上競技全主権大会 銅メダリスト
- ・現在、株式会社 Y-TRAINING 指導責任者兼本部長



【講 師】宮下 梨沙 様

・専門：やり投・テグ／ロンドン世界選手権大会、アジア競技大会 日本代表

【サポートスタッフ】大江 様、澤田 様、その他スタッフ



司会：久見 達也 学術部員



講師：村上 幸史 様 宮下 梨沙 様



午後3時40分から「自費施術に使える最新の治療器機器のデモンストレーション」が長尾裕次郎  
学術部員の司会で始まりました。

講義は、機器の紹介と導入時の収入シミュレーションも示され、保険施術以外に実費で施術をして収入アップを考える良い機会でした。

【講 師】伊藤超短波(株)メディカル営業部大阪営業所 所長代理 松畑 宏謙 様



講師紹介 長尾 裕次郎 学術部員



講師 松畑 宏謙 様

午後4時30分、最後に今井学術部長の閉会のアナウンスがあり、保険講習会・運動療法ワークショップは終了しました。

今回は、会場参加の先生方も多く、ワークショップなど実技は、講師の先生方の指導を直接受けられる良い機会です。次回はぜひ会場まで足を運ばれてはどうでしょうか。

(広報部 中川稔貴)

## 第81回京都接骨学会・保険講習会 令和6年度第2回運動器疾患対応力向上実施事業

令和6年11月3日(日)午後1時から京都府柔道整復師会館2階ホールにて第81回京都接骨学会・保険講習会 令和6年度第2回運動器疾患対応力向上実施事業が開催されました。メイン会場の他にサテライト会場(京都医健専門学校実習室)及びオンライン配信がありました。



挨拶 林 啓史 会長



開会の辞 谷山 和浩 副会長

開会 PM0:50

総司会を今井雅浩 学術部長が務め、谷山和浩 副会長の開会の辞をもって始まりました。



はじめに、林 啓史 京都府柔道整復師会会長からの挨拶と本学会の講演概要が発表されました。

## 保険講習会 PM1：00～

中村英弘 保険部長からご講演の近畿厚生局京都事務所 指導課長 堂元邦浩 様の紹介と来賓の兵庫県柔道整復師会 保険担当 橋本幸士 理事の紹介がありました。



司会 今井 雅浩 保険副部長



講師紹介 中村 英弘 保険部長

## 「柔道整復療養費の取り扱いについて」

講師：近畿厚生局京都事務所 指導課長 堂元邦浩 様

1. 健康保険制度の概要
2. 療養費制度の概要
3. 柔道整復施術療養費
4. 受領委任の留意事項等
5. 療養費算定基準額等の改定等
6. 受領委任の取り扱い関係
7. 施術管理者になるための要件
8. 指導、監査



ご講演 堂元 邦浩 様

後、中村 保険部長よりオンライン資格確認の現状、明細書発行体制加算についての注意事項、損保ジャパンへの請求方法の変更内容について、お願いと報告がありました。

## 第81回京都接骨学会 PM2：15

長尾裕次郎 座長が養成校講師および本会員の全4演題の紹介と進行を務められました。

### 養成校発表

宗友宏行 (明治国際医療大学保健医療学部 柔道整復学科講師)

「インターバル速歩が機能回復訓練に果たす役割」  
(動画発表)



座長 長尾 裕次郎 学術部員

## 会員発表

井坂 豊（城陽支部）「下腿骨顆部骨折の一症例」「腰椎圧迫骨折の検査時に腫瘍を発見した稀な症例報告」

山根文彦（中丹支部）「膝蓋骨骨折の1症例」（動画発表）

疋田訓寛（左京支部）「柔道整復施術所の特徴を生かした腰部の痛みへのアプローチ（症例報告）」

## 表彰式

林 会長より発表者へ表彰状の授与があり代表で井坂 会員と疋田 会員が登壇されました。



表彰者 井坂 会員、林 会長、疋田 会員

## 令和6年度 運動器疾患対応力向上実施事業 PM3：15

講演「エコーのない接骨院なんて…」誰がいくの？

講演ワークショップ～「なんで痛いのか？骨、筋、神経の動的エコー観察法」

（公社）滋賀県柔道整復師会総務部長 近畿超音波委員 川戸典知 先生



講師 川戸 典知 先生



講演風景

ワークショップでは、来年初旬より予定されている京都・滋賀共同開催「匠の技 伝承プロジェクト」匠の技伝達講習会でも実習課題となっている橈骨遠位端部及び足関節部を中心に実演されました。

## 閉会 PM3：50

全ての演題発表が終了し、今井雅浩 学術部長からの閉会の言葉で保険講習会・第81回京都接骨学会（令和6年第2回運動器疾患対応力向上実施事業）が終了しました。

（広報部 中村賢治）



実習風景



# (公社) 日本柔道整復師会

## 第47回近畿学術大会 和歌山大会 開催

令和6年10月27日(日)公益社団法人日本柔道整復師会 第47回近畿学術大会 和歌山大会が和歌山県西牟婁郡白浜町「SHIRAHAMA KEY TERRACE HOTEL SEAMORE」にて開催されました。本学術大会は柔道整復師、並びに養成校学生の生涯学習の一環として、柔道整復術の研究、医学的技術と知識の研鑽、資質向上、及び地域住民の健康と福祉に寄与することを目的に開催されています。昨年 of 奈良大会と同様、今回の和歌山大会では現地とオンラインの2つの方法での同時開催であるハイブリッド開催となりました。

### 開会式

- ・「開会宣言」 公益社団法人日本柔道整復師会 近畿ブロック会会長 大会実行副委員長  
公益財団法人滋賀県柔道整復師会 会長 杉尾裕司
- ・「開会挨拶」 公益社団法人日本柔道整復師会 会長 長尾淳彦
- ・「主管県挨拶」 大会実行委員長 公益社団法人和歌山県柔道整復師会 会長 岸田昌章

### 特別講演

「私が行っている骨折・脱臼への柔整的対応」 富山県 高崎接骨院院長 高崎 浩 先生

### 学術教育部からのお願い

- ① 「匠の技伝承プロジェクトの意義等について」 日本柔道整復師会 学術教育部 部長 徳山健司
- ② 「エコーを柔整師の手に」 日本柔道整復師会 学術教育部 部員 小野博道

以降、第Ⅰ会場、第Ⅱ会場が並行して会員や養成校学生などによる発表、近畿超音波画像観察小委員会委員ほかによる超音波画像観察装置関連の発表など多くの発表が行われましたが、すべて滞りなく終了しました。

### 表彰式・閉会式

表彰式ではまず、一般会員発表者10名が表彰されました。次いで養成校発表者6名が表彰され、各々の養成校3校に感謝状が授与されました。今大会で司会として開会式、表彰式に起用された養成校の学生2名に感謝状が贈られました。次に和歌山県の梅田貴吉 学術部長から謝辞の言葉があり、その中で近畿各府県の学術部長、近畿超音波画像観察小委員会委員長が登壇し、紹介がありました。また、来年は兵庫で本大会が開催される旨を、話されました。最後に和歌山県柔道整復師会 岸田昌章会長の閉会宣言により終了となりました。

### 本会の発表者

- ・「下腿三頭筋肉離れアプローチ」 人見達也 会員
- ・「接骨院での運動器エコー活用法」 檜作 徹 会員
- ・「柔道整復師として私のインターネット活用法」 河原 巧 会員

発表では発表者本人の出席がなくても事前にビデオ収録などをされたものを使い、便宜を考慮されていました。また、発表者以外にも本会会員が大会役員、実行委員、会場係などを務められていました。

今大会では全体的に超音波観察装置の発表が多く割合を占め、これからの柔整師の未来における象徴とも思えるツールとして大いに期待されていると感じました。

(広報部 安田優二)



会場の「SHIRAHAMA KEY  
TERRACE HOTEL SEAMORE」



特別講演 高崎 浩 先生



第 I 会場



開会式 長尾淳彦  
日本柔道整復師会会長



岸田昌章  
和歌山県柔道整復師会会長



業者展示



発表の様子



会員発表表彰



養成校発表表彰



近畿超音波画像観察小委員会  
特別講演



# 令和6年度第1回理事支部長会議及び 個人情報保護に関する研修会開催

令和6年9月8日(日)10時から京都府柔道整復師会2階ホールにて、令和6年度第1回理事支部長会議及び個人情報保護に関する研修会が開催された。岡田達也総務部長の司会で進行され、林 啓史会長の挨拶で始まった。

順次、総務部 岡田達也理事、経理部 面村美紀理事、事業部 兼田旭紘理事、広報部 中川稔貴理事、保険部 中村英弘理事から連絡事項が伝えられた。



林 啓史 会長 挨拶



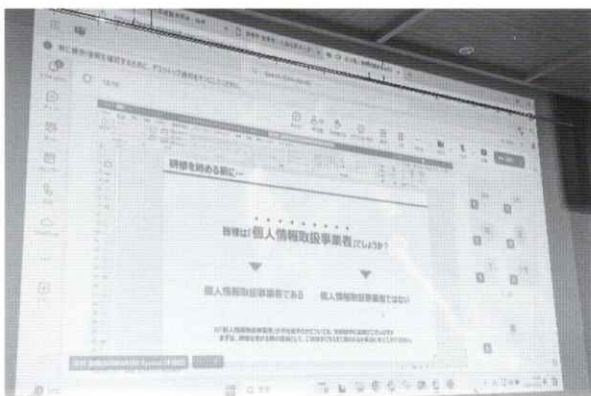
面村美紀 経理部長



兼田旭紘 事業部長

引き続き同会場にて、個人情報保護に関する研修会が開催された。研修会に先立ち、谷山和浩副会長が挨拶をなされた。今回の研修会は、日本の行政機関のひとつである個人情報保護委員会の事務局 河村龍磨さまから WEBにて会場配信があった。

11時の配信終了をもって、令和6年度第1回理事支部長会議及び個人情報保護に関する研修会は終了した。  
(広報部 中川稔貴)



個人情報保護委員会 配信画像



会場風景

# 全体会議 開催

令和6年10月19日(土)16時30分からリーガロイヤルホテル京都1階「ル シィーナ」に於いて本会 全体会議が開催された。定刻になり、司会の谷山和浩 副会長により進行された。以下に次第を掲載する。

## 1. 挨拶 会長 林 啓史

会長ご就任のこと、最近の柔整業界、今後のことなどについて。

## 2. 各部報告

### 保険部長 中村英弘

マイナ保険証の現状と保険取扱い上の注意点等。

### 学術部長 今井雅浩

学会について、超音波観察についてなど。

### 事業部長 兼田旭紘

今後の開催行事など

### 広報部長 中川稔貴

会報誌。本会ホームページの状況、会報誌への投稿を依頼。

### 経理部員 大西裕二 (面村美紀経理部長欠席のため)

会務手当の申請上の注意点など。

上記のような内容で各部より業務状況等の報告がされた。

## 3. 支部会からの要望・質問等

保険関連の質問等があり返答がなされた。

(広報部 安田優二)

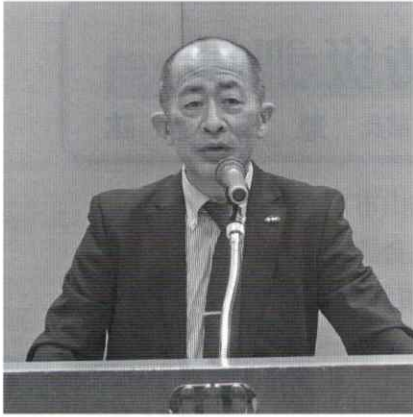


谷山和浩 副会長



林 啓史 会長





中村英弘 保険部長



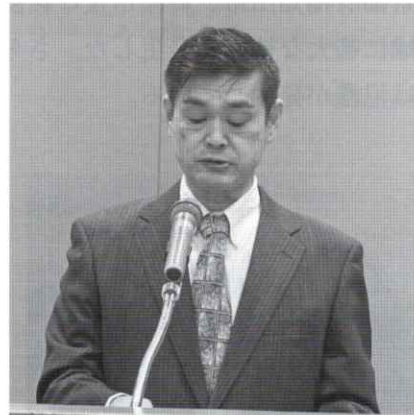
今井雅浩 学術部長



兼田旭紘 事業部長



中川稔貴 広報部長



大西裕二 経理部員



会場風景



会場風景

# 令和6年度京都府総合防災訓練

救急救護隊隊長 事業部長 兼 田 旭 紘

令和6年10月27日(日)午前10時から主会場：福知山訓練場（福知山市）において令和6年度京都府防災訓練が行われました。（主催：京都府防災会議、福知山市防災会議、舞鶴市防災会議、綾部市防災会議）京都府柔道整復師会は合同救護所訓練に参加し長田野演習場で活動しました。

## 訓練想定：地震・水害の複合災害想定

前日から停滞する前線の影響による大雨の最中、三峠断層を震源とする大規模地震が発生し、京都府福知山市、舞鶴市及び綾部市において最大震度6弱が観測され、同地域に甚大な被害が発生した。さらに、大雨の影響で河川が増水、一部地域では氾濫が発生している。



## 合同救護所運営訓練について

### 1 合同救護所の設置について

長田野演習場内の各訓練サイト（舞鶴市、福知山市、綾部市）の発生場所からの中間地点に搬送拠点として設置される。

長田野演習場内の各訓練サイト及び付近の救急事案の要救助者等が一時的に搬送される。

### 2 合同救護所運営訓練参加機関

・26日：緊急消防援助隊、京都府DMAT

・27日：緊急消防援助隊、京都府DMAT、日本赤十字社京都府支部、京都府柔道整復師会

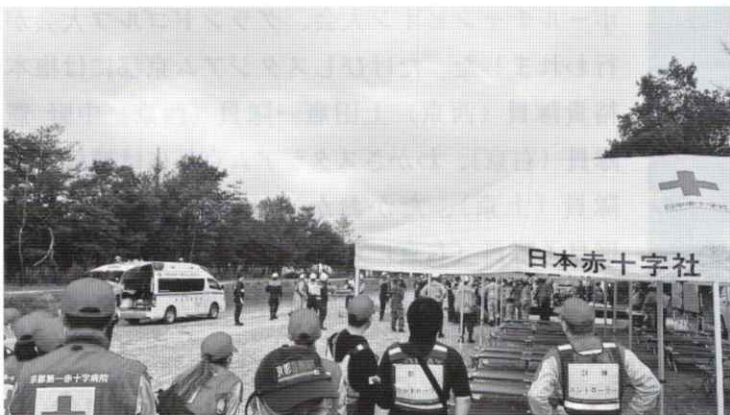
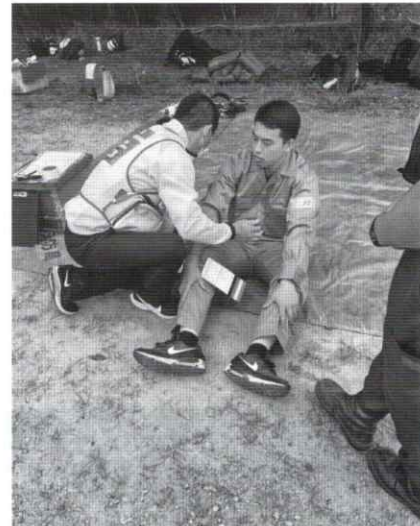
### 3 合同救護所運営訓練の内容

搬送されてくる要救助者等に対してトリアージ、応急処置等、搬送先医療機関の調整及び搬送手段の調整、仮想医療機関への実搬送までを訓練参加機関が連携して実施する。





京都府柔道整復師会は医療部会における合同救護所訓練場所において、日本赤十字社京都府支部、京都府医師会、京都府 DMAT、京都府看護協会、陸上自衛隊、海上自衛隊、消防と協力して訓練をしました。訓練内容は、緑ブースに配置され、合同救護所に到着し医師が判断した緑のトリアージ・タグをつけた傷病者に対する処置を行いました。災害現場でトリアージされ、搬送された傷病者に対して、救護所到着時に状態の変化がないか、再度トリアージを行います。今回公益社団法人京都府柔道整復師会は、緑の救護活動を行いました。本会から参加した救護隊メンバーは、兼田旭紘隊長、梅本裕貴副隊長、中野 憲隊員、でした。



最後に京都府 DMAT 関係者とのミーティングで、緑トリアージで活動した京都府柔道整復師会救急救護隊隊長として、災害現場では良い環境での作業は望めない中、消防隊の対応がスムーズで搬送も迅速で傷病者への救護活動が滞りなく行え、他団体との連携の大切さを感じたと感想を述べました。

今回の救護訓練としては2時間足らずの救護活動でしたが、実際の活動としては何時間、数日に及ぶ可能性も考えられます。体力と知識がそして、心配りが一層大切だと思いました。参加された方々、お疲れ様でした。

(事業部 兼田旭紘)

## 第36回市民スポーツフェスティバル救護活動報告

令和6年11月17(日)雲が広がるも暖かい中、西京極総合運動公園にて京都市体育振興会連合会第36回市民スポーツフェスティバルが行われました。京都市の派遣要請に本会より救急救護隊を派遣しました。

午前9時から開会式が行われ、谷山和浩副会長が来賓として参列しました。

開会式後、たけびしスタジアム京都、わかさスタジアム京都、たかおかアリーナ京都、東寺ハウジングフィールド西京極に分かれ、それぞれリレーカーニバル/ジョギング大会/モルック交流大会/スクエアポッチャ体験会、一般ソフトボー



京柔整救急救護隊 集合写真



開会式 谷山和浩 副会長 (左)



中野 憲 隊員 (右京) 梅本裕貴 隊員 (西京)  
上田憲一 隊員 (西京)



安達瑠見子 隊員 (右京)

ル大会/壮年ソフトボール大会、ソフトバレーボールチャンピオン大会、グランドゴルフ大会が行われました。たけびしスタジアム京都には梅本裕貴隊員(西京)上田憲一隊員(西京)中野 憲隊員(右京)、わかさスタジアム京都には植村真吾隊員(上京)、たかおかアリーナ京都には安達瑠見子隊員(右京)東寺ハウジングフィールド西京極には柿沼貴博隊員(下京・南)、が救護にあたりました。





柿沼貴博 隊員 (下京・南)



植村真吾 隊員 (上京)



閉会式

たけびしスタジアム京都では疲労骨折の疑い1名、捻挫他7名、たかおかアリーナ京都は捻挫2名と挫傷の3名の応急手当を行いました。東寺ハウジングフィールド西京極では挫傷1名と腰痛1名の応急手当を行いました。わかさスタジアム京都での負傷者はありませんでした。

各会場とも順調に競技が進み午後4時、無事に救護活動を終わりました。

(広報部 中川稔貴)

文部科学大臣杯争奪  
**第33回日整全国少年柔道大会**  
 文部科学大臣杯争奪  
**第14回日整全国少年柔道『形』競技会**

令和6年11月17日(日)東京講道館で開催されました。

全国各都道府県より予選を勝ち抜いた選手、チームが集まり白熱した戦いを繰り広げました。

京都より下記の選手が出場しました。

京 都 府



監 督 山 本 俊 広

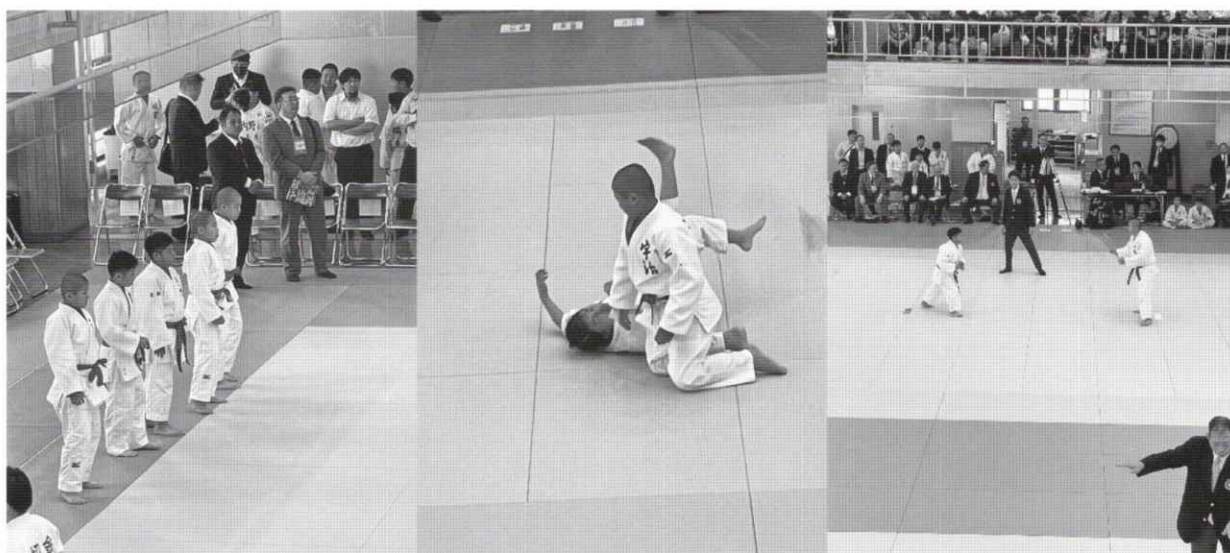
	氏 名		学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	向	陽 暖	6	145	50	H24.8.23	男
副将	齋	藤 夢 真	6	140	45	H24.10.11	男
中堅	行	田 光 希	5	140	50	H25.10.30	男
次鋒	谷	口 諒 丞	5	140	35	H26.3.13	男
先鋒	小	林 洸 大	4	140	40	H26.5.23	男

京 都 府



監 督 木 下 竜 一

	氏 名		学年	生年月日	性別
取受	鍛	冶 恭 平	6	H24.7.14	男
	岡	嶋 蘭	6	H25.1.31	女





初戦愛媛県代表チーム

- 先鋒 小林光汰選手 大内刈り技あり・袈裟固め技あり 合わせ技一本で勝利
- 次鋒 谷口諒丞選手 払い腰一本負け
- 中堅 行田光希選手 一本背負い技あり 優勢勝ち
- 副将 斎藤夢真選手 大内刈り技あり 優勢負け
- 大将 向陽暖選手 大内刈り技ありからの抑え込み技あり 合わせ技一本負け

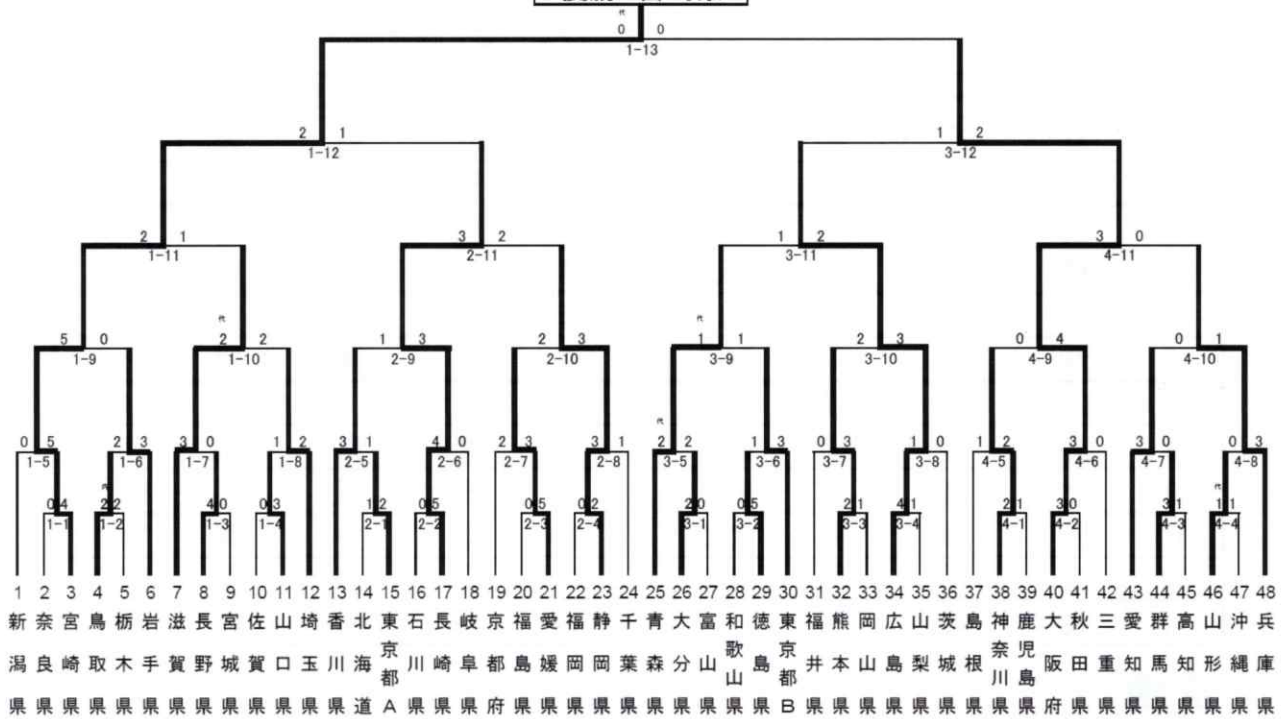
3-2で愛媛県代表チームに負け。

形競技会も奮戦惜しくも予選敗退となりました。6年生は最後の大会となりましたが4年生、5年生は来年も出場して優勝を目指してくれることを楽しみにしています。

(事業部 兼田旭紘)

### 第33回日整全国少年柔道大会試合結果

優勝 宮崎県



# 第14回日整全国少年柔道「形」競技会 結果

## 予選

順序	チーム	得点
1	青森県	75.7
2	山口県	59.5
3	大分県	62.7
4	愛媛県	73.4
5	奈良県	71.6
6	滋賀県	74.3
7	群馬県	58.0
8	宮城県	74.5
9	熊本県	69.3
10	香川県	71.1
11	福岡県	51.1
12	-	

順序	チーム	得点
1	岐阜県	62.7
2	富山県	71.4
3	鹿児島県	59.3
4	島根県	57.5
5	栃木県	59.5
6	愛知県	67.7
7	佐賀県	56.8
8	秋田県	60.2
9	大阪府	72.3
10	山形県	58.6
11	福島県	63.6
12	三重県	70.0

順序	チーム	得点
1	兵庫県	79.3
2	宮崎県	64.5
3	新潟県	66.6
4	徳島県	65.0
5	高知県	63.2
6	沖縄県	58.0
7	山梨県	59.1
8	鳥取県	67.7
9	北海道	64.1
10	茨城県	63.0
11	岩手県	66.6
12	長崎県	-

順序	チーム	得点
1	広島県	57.3
2	長野県	60.2
3	京都府	70.2
4	神奈川県	73.9
5	静岡県	68.2
6	千葉県	71.1
7	和歌山県	74.5
8	東京都	75.5
9	埼玉県	69.5
10	福井県	71.1
11	石川県	68.2
12	岡山県	76.1

## 決勝

順序	チーム	得点	順位
1	富山県	74.5	4
2	鳥取県	72.9	8
3	兵庫県	78.3	1
4	東京都	74.1	6
5	青森県	75.6	3
6	宮城県	73.6	7
7	岡山県	74.2	5
8	大阪府	76.4	2



## 第18回宮津与謝柔道連盟杯ジュニア大会救護活動報告

北丹支部 宮根保司

令和6年7月7日(日)、京都府宮津市 宮津市民体育館にて「第18回 宮津与謝柔道連盟杯ジュニア大会」が開催されました。

大会は、個人戦と団体戦が行われ小学1年生から中学3年生までの男女約220人の参加があり、京柔整青少年少女柔道教室からも2名の参加がありました。当日の救護には、京都府柔道整復師会北丹支部員 宮根保司・塚原貴史の2名でありました。負傷者は2名でした。



① 小学2年女子 左前腕骨下端部骨折  
(若木骨折)の疑い

原因：背負い投げを受け左手を突き負傷

症状：左前腕部疼痛・圧痛・介達痛・嘔吐・ショック性貧血

所見：左前腕部に軽度の凸変形があり

処置：冷却・副木固定・三角巾固定

※ショック性貧血が出たので保護者が救急処置前に救急搬送依頼の電話をしていた為、救急隊員に引き継ぐ

② 小学2年男子 鼻血

処置：ティッシュペーパーにて自力止血

今回救護で、傷病発生状況記録書作成に当たり主催者側に1部、救護隊保管で1部と合計2部の傷病発生状況記録書を作成しました。

以上

[付記]

「経血漏れで試合敗退の事例も一現場から変える、女子柔道界の月経問題」

埼玉県柔道連盟 女子柔道振興委員会 ([https://saijuren.jp/?page\\_id=868](https://saijuren.jp/?page_id=868))

既にご存じの事でしょうが、ネットニュースで取り上げられた記事です。

令和6年7月7日(日)第18回 宮津与謝柔道連盟杯ジュニア大会の救護を担当しました。この大会では女子約80名(小学4年生～中学3年生約50名)の参加があり、必要はなかったですが生理用品一式を用意しました。生理用品の持参が必要かどうかはさておき、現場の救護員は経血漏れの認識が必要かと思えます。

# 第69回京都道場選抜「東西対抗柔道大会」救急救護活動報告

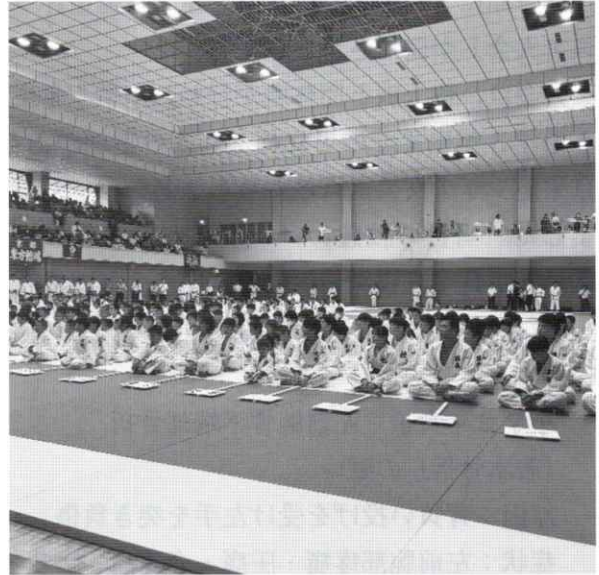
北支部 面村美紀

令和6年8月4日(日)午前10時30分から、第69回京都道場選抜「東西対抗柔道大会」が開催されました。

大勢の柔道キッズ達が元気良く乱取りから始まり、午後から小学1年生～中学3年生による男女体重別トーナメント試合、中学2年生以上の段外者による段外者選手権が、順次行われました。

前半は頭部打撲が多く担架にて安全で涼しい場所に運び、医師による診察のもと安静に見守り、その後は30分後、1時間後と定期的に確認を取りました。後半は捻挫、脱臼、骨折の疑い等が多数ありました。

真夏の大会でしたので、体調の変化がある際は遠慮なく申し出ることや、水分補給のアナウンスなどが徹底されていたので、心配していた熱中症など心配していた体調不良はありませんでした。



処置をする 岡島順 会員



処置をする 面村美紀 会員



# 2024年度 柔道救護担当者講習会に参加して

左京支部 岡島 順

令和6年9月22日(日)午前10時～12時、天理大学体育学部武道館にて、(公財)全日本柔道連盟医学科学委員会の主催による講習会が開催されました。

事前に学習講義があり

- ① 柔道大会救護の運営、審判規定と医療スタッフの役割  
講師：宮崎誠司（東海大学体育学部教授）
- ② 柔道大会における止血手技  
講師：井波 彰（筑波大学医学部講師）
- ③ 柔道大会における外傷初期対応  
講師：田邊 誠（医療法人社団松本会松本病院院長）

後に、実技実習へと移りました。

当日の実技実習（講師：田邊 誠先生 他）には、本会から兼田旭紘事業部長、面村美紀経理部長、本会会員、また近畿の他府県柔道整復師会の先生方が多数参加されていました。

各グループに分かれて、実技演習に入り、ログロール、スパインボードを用いた搬送、スクープレストストレッチャーを用いた搬送、止血法を各自講習、実技を行いました。

頭部打撲、頸髄損傷、頸椎脱臼骨折の重要性（頭部を動かさないように保護し、速やかに救急車を要請する事）などを学びました。

講習会終了後、各自に修了証が渡され講習会は終了しました。

修了証

No. 2024-2-20

岡島 順 殿

あなたは2024年度柔道救護担当者講習会において所定の課程を修了したことを証します

2024年9月22日

公益財団法人 全日本柔道連盟

会長 中村 真一  
医科学委員長 三上 靖夫



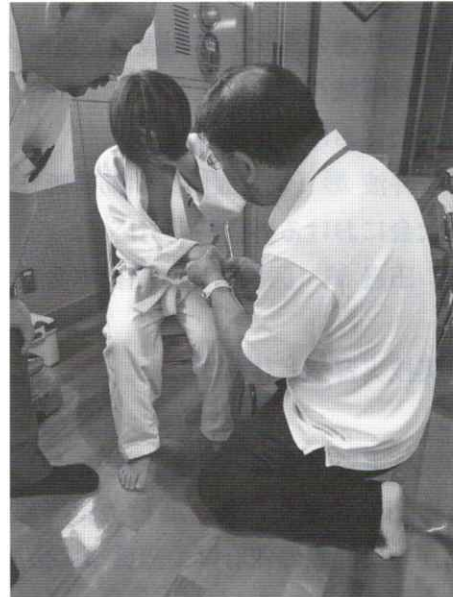
## 活動報告

# 第43回舞鶴学童柔道大会救護活動報告

北丹支部 貞岡辰夫

令和6年9月29日(日)舞鶴文化公園体育館にて第43回舞鶴学童柔道大会救護活動報告が開催されました。救護に塚原貴史隊員、貞岡辰夫隊員が参加しました。右第4基節骨骨折1例、擦過傷3例、合計4名の負傷がありました。基節骨骨折はスダレ副木固定をして、病院に受診をしてもらいました。

長時間の大会でしたが、その他の負傷者はなく、最後まで活気があり、見ごたえのある大会でした。



## 活動報告

# 第7回舞鶴赤れんが中学生柔道大会救護活動報告

北丹支部 河原 巧

令和6年11月24日(日)に舞鶴文化公園体育館にて第7回舞鶴赤れんが中学生柔道大会が行われ、村上由一隊員、河原 巧隊員が救護隊員として参加しました。今回の救護では3名(頭部打撲、アキレス腱挫傷、胸部打撲)の処置を行いました。

大会に参加された選手の皆様お疲れ様でした。





# 『第36回市民スポーツフェスティバル 第71回京都市ソフトボール大会 第34回京都市壮年ソフトボール大会』 救護隊として参加して

左京支部 岡島 順

令和6年11月3日(日・祝)、前日の大雨によりグランドコンディションが心配されましたが、当日は快晴となり『第36回市民スポーツフェスティバル 第71回京都市ソフトボール大会 第34回京都市壮年ソフトボール大会』が比叡山の麓、左京区の岩倉東グラウンドにて盛大に開催されました。このグラウンドは4面の球場が取れる広々とした施設で、各地区代表の22チームが参加されました。

大会は京都市文化市民局市民スポーツ振興室 スポーツ活動推進によって進行されました。

8時頃、グラウンドに到着して救護隊の机の上に救護備品を並べていると、同じく救護係の看護師の方が1名来られました。区長、京都市の職員の方々、各地区の体振の協力のもと準備が整い、午前8時40分から開会式が始まりました。開会式では、公益社団法人京都府柔道整復師会の救護隊として、司会の方からご紹介を賜りました。

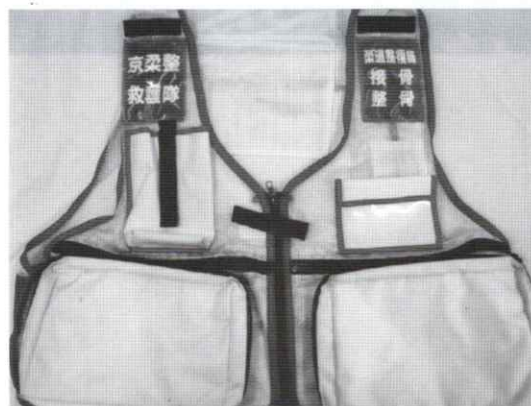
## ○傷病発生状況

- 1) 午前10時頃 手を突き、右手関節(尺側部)にやや痛みがあり腫脹が見られ、圧痛も認めました。試合に参加希望で、テーピング固定を施し試合に出られました。ボールを投げるとやや疼痛がありましたが、試合終了後に湿布と冷却を施し、「ありがとうございます」とのお礼をいただきました。
- 2) 次に、選手が右膝の負傷との連絡を受けて、看護師と現場に向かいました。膝蓋骨下に出血が見られ消毒後、大判の絆創膏にて処置をしました。(右下腿上部の擦過傷)
- 3) チームの方から連絡を受けて、試合場まで小走りで向かいました。試合中にバントをして一塁まで全速で走った際に、右下腿部に激痛が走り椅子に座ってアイシングをされておられました。右下腿部に圧痛を認め、痛みのため歩行困難でした。テープを巻いて応急処置をされていたので剥がして、再度、動かしやすい様にテーピングを施してその上からアイシング剤をテープ固定しました。その後、歩行をされた際に痛みも軽減されたとのことで、帰宅後の湿布とアイシングを指導しました。帰りに「ありがとうございます」と会釈をして帰宅されました。

今回の手当は3件でした。スポーツをされている方は、各チームにそれなりの施療処置のスキルをお持ちの方がおられ、医療・救急に必要な物も用意されていました。また、練習やトレーニング等の知識をお持ちの方が多く、われわれ救護隊も応急処置による早期回復の手助けを心がけています。

今回、公益社団法人京都府柔道整復師会から、救護隊として参加した事がいい経験となり、ますます向上していくことが大切だと思いました。

最後になりましたが、本会の救護ベスト(ビブス)、救護バッグなどを装備し、選手たちが安心してスポーツができる環境づくりのお手伝いできて、大変良かったと思います。ありがとうございました。



# 第16回日整近畿ブロック親善ゴルフ大会

京柔整ゴルフ同好会 山形高明

日整近畿ブロック親善ゴルフ大会は、近畿1府4県の柔道整復師会に所属する会員が、一堂に会し例年秋ごろに開催される大会で、今年第16回を迎えました。今年は9月15日に京都府が主管となり、城陽市の難コース「東城陽ゴルフ倶楽部」で開催いたしました。

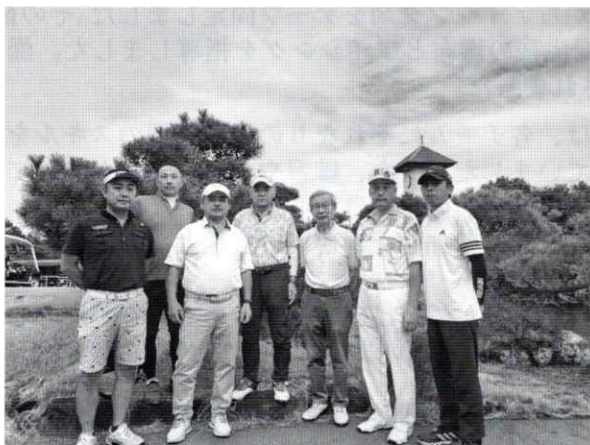
競技はダブルペリア方式で行われ、個人の成績を競う個人戦と各府県上位者のスコア合計を競う団体戦が行われました。京都府からは林啓史会長、藤田徹会員（下京）、林哲也会員（中丹）、伊藤友雅会員（城陽）、福島貞行会員（北）、栗田祥吾会員（北）・山形高明会員（左京）の7名が参加し、他県・協同組合指定業者様を合わせて35名で競技を行いました。

個人戦優勝は兵庫県の岩本芳照会員、団体戦はここ数年、京都は苦戦しておりましたが今回見事に優勝という最高の結果になりました。

来年は奈良県が主管となり開催されますので、団体優勝連覇を目指そうと思います。

京柔整会ゴルフ同好会では毎年春と秋の2回ゴルフコンペを開催しています。アスリート志向が強いゴルファーからエンジョイゴルファーまで一緒にゴルフを楽しんでいます。

次回の京柔整会コンペは、来年春に予定していますのでぜひご参加お待ちしております。





# 2024年度 第11回 柔道医科学研究会

全日本柔道連盟医科学委員会協力委員 国 本 一 路 (城陽支部)

去る9月21日(土)、天理大学体育学部6号棟3階において、表題の研究  
会が開催され、本会から面村美紀理事(北支部)と私が出席しました。

今年度のテーマは「さらなる柔道の発展に向けて」であり、口演A、会  
長講演、文化講演、特別講演、パリオリンピックセッション、シンポジウム、  
口演B、口演Cという8部構成で展開され、時間も11時～18時まで行われ  
ました(昼食時はランチョンセミナー形式)。



## 口演A

柔道を取り巻く環境と課題

～女性の生涯柔道環境の構築と維持に関する考察～

日本体育大学保健医療学部 稲川郁子 他6名

## 会長講演

国際柔道連盟(IJF)医科学委員会の役割

天理大学体育学部、全日本柔道連盟医科学委員会副委員長 神谷宣広

## 文化講演

国際柔道連盟(IJF)と日本柔道について—フランス・日本・天理柔道の関係

全日本柔道連盟特別顧問、国際柔道連盟理事 細川伸二(ロス五輪金)

## 特別講演

柔道の試合審判と救護対応について

アジア柔道連盟ヘッド審判理事 大迫明伸

## パリオリンピックセッション

①パリオリンピック2024でのメディカルサポート

筑波大学医学医療系整形外科 井汲 彰

②パリオリンピック2024柔道競技におけるヘッドダイブ・絞落ち事案について

同愛記念病院関節鏡・スポーツセンター 立石智彦

## シンポジウム

さらなる柔道の発展に向けて —医科学・審判・強化の立場から—

①医科学委員会が柔道の発展になすべきこと

京都府立医科大学大学院リハビリテーション医学 三上靖夫

②柔道における「マイッタ」を考える

～嘉納治五郎は絞技と関節技をいかに考えていたか～

日本体育大学保健医療学部 稲川郁子

③魅力的な柔道に向けて

～ 2024 パリオリンピック後のルール改正～

全日本柔道連盟特別顧問、国際柔道連盟理事 細川伸二

口演B

柔道に関わる個別研究

～柔道競技における絞技の実態調査～

久留米大学医療センター整形外科 木内正太郎 他4名

口演C

外傷・骨折

～中高生柔道選手の肘関節外傷～

筑波大学医学医療系整形外科 井汲 彰 他4名

上記の内容で第11回医科学研究会が開催されましたが要約すると、①肘関節と膝関節の外傷、②絞め落ちのメカニズム、③ケガをしにくい柔道衣の開発研究、④止血手技の調査研究、⑤女子選手がベストパフォーマンスを発揮するためのコンディショニング研究、⑥アンチドーピングの啓発活動がコアな部分だったと思います。

柔道医科学研究会は2013年から毎年開催されているので、柔道大会の救護班として活動されている本会会員や、救護に興味のある方は参加されることを推奨致します。





# 「高齢化社会」を迎えて（その11） —「終活」の具体的進め方（10）—

本会顧問 弁護士 薦田 純 —

今回は、最近特に話題になっている中小企業や小規模企業の「事業承継」の問題について考えて見ましょう。

当職は、数年前から「高齢化社会の現状とその対策」について寄稿していますが、皆さんの中にも中小規模の会社を経営されている方も多いのではないのでしょうか。そのような中小企業は、我が国の企業数全体の99%以上を占めていますが、そのような中小企業経営者の高齢化が深刻化しています。というのは、中小企業庁の発表によると、経営者の平均的引退年齢は、一般的に70歳前後とされていますが、いわゆる団塊の世代の方々が75歳以上となる2025年には中小企業の経営者の約半数の127万人が後継者未定のため廃業の危機にあるとされているのです。

そのため、中小企業庁は、平成18年に「事業承継ガイドライン」を策定しましたが、後述するとおり「親族内や従業員への承継」の方は困難な企業が多く、平成28年12月に「第三者への承継（M&A）」の重要性をクローズアップして「事業承継ガイドライン（GL）」を全面的に改訂した後、さらに令和4年3月にも再改訂を行っています。

そこで今回、当職は、「終活」の一環として、主に平成27年3月「中小企業向け事業引継検討会」が作成した「事業引継ぎガイドライン（GL）～M&A等を活用した事業承継の手続き～」(以下「事業引継ぎGL」という)を参照して、この「事業承継」の問題のうち当職が実際に関与した第三者承継（M&A）を中心に事業承継のタイムスケジュールや概要について検討してみたいと思います。

- 1 まず、「事業引継ぎGL」で示されている「事業承継のフロー」（8頁）にも記載されているとおり、事業承継には、大きく分けて（1）「親族内あるいは役員・従業員への承継」と（2）「社外の第三者への承継」の2パターンがあります。

しかし、前述したとおり、（1）のパターンの承継は後継者が見つからないとか、後継者の教育などの準備に時間が掛かるなどの事情から、事例としてはかなり少ないのが現状です。

- 2 当職が関与した例も、（2）「第三者承継」の事案（以下「本事案」という）でした。この本事例は、同様の製品を製作している会社（株式会社甲工業・以下「甲社」という）の経営者Aさんから、長年同業者としてお付き合いがあった乙工業株式会社（当職が顧問をしている会社・以下「乙社」という）の社長Bさんに対して、「自分（甲工業の社長A）も、間もなく70歳になるが、社内には息子や従業員のなかに会社を承継してくれる後継者がいないので、従来からお付き合いがあって信頼している貴社（乙社）に自社（甲社）の工場を引き継いで、従業員らも全員引き取って貰えないか。」という申入れがあったことが切っ掛けでした。

- 3 そこで、乙社のB社長から、当職にこの甲社とのM&Aの件について相談がありました。そこで、当職は、以前からお願いをしている公認会計士と一緒にこの件を受任することにして、この甲社とのM&Aに関する概要やタイムスケジュールについてB社長にご理解頂くために、以下のような「M&Aスケジュール」を作ってみました。

- （1） まず、「今回のM&Aの手法（基本方針）」は、甲社の発行済み株式の全てを乙社が適正な金額で買い取り、甲社の工場や機械設備、従業員を全て引継ぎ、今後は乙の工場として経営してゆくと

いう方針で行くことにしました（事業引継ぎ GL・49 頁以下）。そして、A 社長には、引継ぎ後 5 年間は元甲社の工場に止まって貰って製品製作に関するノウハウや機械操作を指導して貰う他、材料の仕入れ先や製品の納品先などの取引先との関係の維持に貢献して貰うことにして、その間は応分の給与を支払うことにしました。

(2) そこで、具体的な「事業引継ぎのための準備」や「基本条件の交渉」に入ります。

ア まず、法務面から、「株式の集約」が必要となります。すなわち、乙社は、甲社の全株式の取得を前提としているので、会社法上の制限を満たす形で、甲社の株式を A 社長に集約する必要があります。

イ 次に、「会社資産と個人資産の混在」を解消する必要があります。

工場や本社ビル、製品の特許など事業に必要な不動産や知的財産権等の「事業用資産」を経営者やその親族などの個人が所有している場合には、それら全てを承継しておく必要があるほか、A 社長から甲社への貸付や、甲社から A 社長への貸付などの整理も不可欠です。

ウ さらに、財務面から、「決算書」の吟味や検討が不可欠であり（事業引継ぎ GL・13 頁以下参照）、M&A の譲渡価格の決定の際には、最終決算書が正しいことを売主甲が買主乙に対して「表明保証」して貰うのが一般的です。

エ そこで、M&A の基本的な条件について、相互に意見を述べあう会議（これを「キックオフミーティング」と言います）を早期に設けるのが良いと思います。これは、後述の「基本合意」に向けて、事業の譲渡価格、今後の事業展開や経営方針、事業引き継ぎ後の役員や従業員の待遇、社名をどうするかなどについて相互に希望を出し合って調整する機会になります。この会議には M&A 仲介・アドバイザーが立ち会って双方の希望などを聞き取って調整することになります。なお、中小企業の場合には、経営者（A 社長）に取引先との人脈やノウハウが属人的に帰属していることが多いため、「アーン・アウト条項」を定めて、上記のように一定期間「顧問」などの形で会社や工場に残って引き継ぎを行うことを契約上定めることが多いようです。また、会社の負債に対して、経営者 A などが個人保証をしていることが多いので、この経営者保証を外すことを検討する必要があります。

(3) これまでの交渉の結果を踏まえて、双方の「了解事項」を確認し基本的な項目について合意するために「基本合意書」を締結します。その場合、「どの条項にどこまで法的拘束力を持たせるか」は明記しておいた方が良いでしょう（事業引継ぎ GL60 頁参照）。

また、この「基本合意書」の段階で、「譲渡価格」について、少なくとも、「ベースになる額」とか、「どのような算定方法を用いるのか」などについて合意しておかないと、後述の DD（デューデリジェンス）に入ってもなかなか最終合意に至るのが難しくなる可能性があります。

また、「独占交渉権」についても合意しておいた方が良いでしょう。

(4) デューデリジェンス（DD）

ア デューデリジェンス（以下「DD」）というのは、M&A 取引を実施するに当たって、関連する当事者が対象会社ないし事業の実態を把握し問題点の有無などを把握するために行う調査のことを言います。この DD は、一般的には、主に「買い手側乙社の当事者」が、概ね、①ビジネス DD、②財務・事務 DD、③法務 DD の各方面から行うことが多いようです。

イ 「法務 DD の目的」は、第 1 に、「M&A 取引実行の妨げとなる法的問題点」を発見することです。

例えば、(a) A が実際には、甲社の全株式の所有者では無かったとか、(b) 事業活動を継続するのに不可欠な不動産や機械などの動産、知的財産権などの使用権限があるとか、(c) M&A 取引をすることが重要な契約の解除事由になっているとか、支配権の変動について事前



承諾や通知義務を課すなど(チェンジ・オブ・コントロール条項)が無いか、(d)「競業禁止義務」条項が無いか、(e)「独占権付与条項」(権利を有する者が、契約の相手方に対して一定の地域内において、販売活動や知的財産権のライセンスを独占的に与える条項)が無いか、(f)グループ会社に属していて、グループ内の会社だから受けていた便益があるのでは無い(スタンドアローン問題)などを確認する必要があります(日弁連中小企業法律支援センター「事業承継支援の基礎知識」243ページの一覧表・「事業承継法務のすべて」参照)。(g)本事案では、従業員を引き継ぐことにしましたので、従業員との「雇用契約」や「就業規則」、給与や社会保険関係の情報を得ておく必要があります。

第2の目的は、経済的にインパクトが大きい予期しない「偶発債務」(訴訟提起、リコール、為替デリバティブなど)が無いか確認することです。

ウ 買主の立場から法務DDを実施した結果は、最終的に、「法務DD報告書」としてまとめる事になります。その際、「事実」に関しては情報源を明記するほか「法的な意見」は事実とは区別して記載し、発見された問題点についてはその内容だけではなく、それに対する対応策についても検討した結果を記載しておく必要があります。こうして発見された問題点については、改善することを取引の前提条件にして、契約書に書き込むのか、取引後の誓約事項にするのか、あるいは「譲渡価格」の引下げで対応できるのか、取引を止めるほど重大なのかを検討します。

エ このようにして法務DDで判明したことは、最終契約における「表明保証条項」に反映させる必要があります。「補償」の問題も出てきます。しかし、「表明保証による補償」は、あくまで事後的な金銭的な補償にすぎないため、事後的な救済では補えないことも考慮しておく必要があります。

オ また、「財務DD」は、公認会計士の立場から、甲社の最新及び過去の「貸借対照表」や「損益計算書」を分析・検討し、資産価値の評価を行い、将来の収益性を踏まえて、「購入価格」を算出する手続を行うこととなります。

(5) こうして、最終合意書(すなわち、株式譲渡契約書)の締結とクロージング(株式譲渡の実行)に進みます(事業承継支援の基礎知識 251頁参照)。

以上が当職の関与したM&Aの流れですが、現在「事業承継」の問題について悩んでおられる方々に少しでも参考になれば幸いです。

以上

# 西山会総会親睦会開催

西京支部長 上 田 憲 一

令和6年8月24日(土)まだまだ猛暑の続く中、ホテルグランヴィア京都「古今の間」にて公益社団法人京都府柔道整復師会の3支部で構成される西山会の総会・親睦会が開催されました。

コロナウイルス感染症の流行により令和2年以来中止となっておりましたが、5類に移行し行動制限も無くなった事や、西山会をまた復活させて集まりたいというたくさんのお声を頂戴したことにより無事に再開の運びとなりました。

西山会には現在50名の会員が在籍しておりますが、当日はなんと過半数を超える27名もの先生方に出席をいただきました。

西山会総会は17時に開会し令和6年6月10日から新しく公益社団法人京都府柔道整復師会の会長に就任された林 啓史新会長のご講演でスタートしました。西山会の再開にお祝いの言葉をいただいただけでなく、公益社団法人京都府柔道整復師会、さらには柔道整復師を取り巻く現在の厳しい状況、これからのビジョンや新会長としての責務など多岐に渡り語っていただき、会場も真剣な眼差しで会長の言葉に耳を傾けておられました。

続いて小池真賢幹事からコロナ禍による西山会の会費徴収の停止、そして余剰金の還付から

再徴収に至る経緯や会計の報告がありました。そして池辺 徹代表幹事から西山会規約、互助会規則改定の経緯や西山会は京都府柔道整復師会とは別に結成された任意団体であることの説明がなされました。改定については満場一致により決議され8月24日から施行される事となり、総会は円満に閉会いたしました。

その後、隣の会場にて親睦会が行われ、まずは京都府柔道整復師会 藤野勝弘相談役から開会の挨拶を賜り、芳田秀二会員の乾杯の音頭にてスタートいたしました。会場内は活気に溢れ、久々の再開を喜ぶ声や、談笑など料理を堪能しながら終始賑やかな雰囲気にも包まれました。途中、久しぶりの西山会、初めて顔を合わせる先生もおられるということで全員の自己紹介を改めてさせていただく時間を設けました。各先生の意外な一面が垣間見え「おお～」という驚きの声や会場が朗笑するようなシーンもあり、楽しい時間となりました。

その親睦会も活気に溢れておりましたが閉会の時間となり、中川稔貴先生から閉会の挨拶を賜りました。

西山会総会・親睦会が再始動しましたが、非常に有意義なものであったと思います。今回は過半数の会員の出席がありましたが、次回以降さらに出席者が増えることを期待します。





## 北・上京会開催

通信員 相良 遼 太

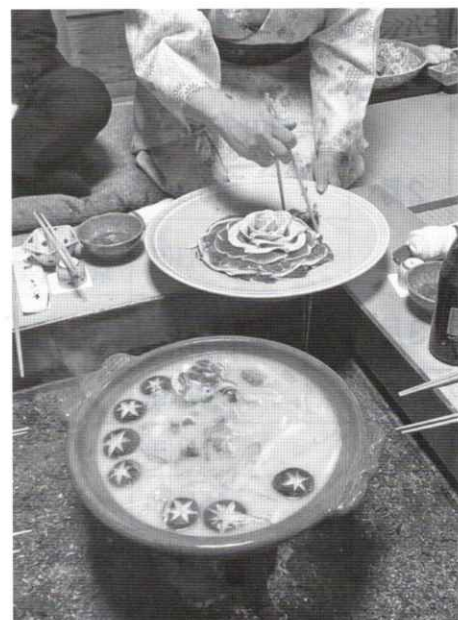
令和6年12月7日(土)午後6時から令和6年度京柔整、北・上京会収支決算報告会並びに懇親会が上京区の「京料理 畑かく」にて開催されました。

上京区の植村真吾先生の司会による全体の挨拶後、総会が行われました。各支部の会員数、会員動静に関する件、令和5年度京柔整北・上京会収支決算報告がありました。

その後、谷山和浩副会長から本会の動静、そ

して今後、我々柔道整復師がどのような態度で社会と接し貢献していくべきかについての貴重な話がありました。

総会終了後、乾杯の合図とともに懇親会が開催され、美味しい牡丹鍋料理と共に各会員先生同士の情報交換や日々の施療の事などを語り、有意義な時間を過ごしました。最後に柴田宗宣先生のご挨拶と共に閉会となりました。



# 会員の動静

## 新入会員紹介

**勝又 拓郎** (下京支部)  
 (10月入会) 四条大宮アシスト鍼灸整骨院  
 〒600-8385  
 京都市下京区五坊大宮町72-3  
 ミヤケビル 1F  
 Tel: 090-4291-1011



## 掲示板コーナー

### 京柔整カレンダー

		柔整関係	京都の行事
1月	18日(土)	税務個別相談会 (本会会館14時30分～、要予約)	
	19日(日)	令和6年度日整「匠の技」伝承プロジェクト 滋賀県柔道整復師会開催	
	1月～3月		第59回 京の冬の旅 「世界遺産登録30周年」 「洛陽三十三所観音 霊場再興20周年」
2月	2日(日)～4日(火)		壬生寺節分厄除大法会 吉田神社節分祭
	16日(日)		京都マラソン
	23日(日)	令和6年度日整「匠の技」伝承プロジェクト 京都府柔道整復師会開催	梅花祭：北野天満宮
3月	13日(木)～ 5月13日(火)		法輪寺 春の十三まいり
4月	20日(日)		松尾大社：神幸祭
5月	11日(日)		松尾大社：還幸祭
6月	15日(日)	令和7年度定時総会(選挙総会)・懇親会	
	27日(金)	京柔整会報173号原稿締め切り	

毎月、第3土曜日に保険説明会が開催されます。(詳しくは事務局まで問い合わせてください)



## 編集後記

- 2025年は、十干の「乙（きのと）」と十二支の「巳（み）」が組み合わさった「乙巳（きのと・み）」です。「乙」は未だ発展途上の状態を表し、「巳」は植物が最大限まで成長した状態を意味し再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展して、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示しているそうです。さらに白蛇が金運をつかさどる弁財天の化身とされていることから金運アップの年となりそうです。運試しで宝くじを買ってみようと思います  
けんじ
- 2025年...令和7年...巳年...蛇は脱皮をするところから「復活と再生」を意味し、新しいことが始まる1年といわれるそうです。また、強い生命力や不老長寿の象徴ともいわれます。わが業界もこのことにあやかり飛躍の年になってほしいものです。  
Yuji
- 今回の会報誌はいかがでしたか。色んな方面から考えて年2回の発刊となり、どうしても新年号のページ数は多くなってしまいます。今後は本会ホームページへの投稿を活用して、効率の良い広報を提案したいと思います。今年が京都府柔道整復師会の理事・監事選挙の年となります。次回の京柔整会報173号発刊をもって、今期の広報部の担当理事は終わります。しっかりとした方向性をもって「復活と再生」をするのか「発展途上から実を結ぶ」のかを考えたいと思います。  
☆nakatoshi☆
- 

次号 しめ切り 6月27日

## 表題文字 京柔整會報

### 機関誌 京柔整会報題字作成に当たって

新会館完成に伴って、機関誌京柔整会報の題字も新しくしたい旨、中川広報部長から話があったが都合で中止となっていた。林 啓史会長に変わり、再度中川部長から依頼があり小野趣石先生（我が書の師）アドバイスの元、引き受けはしたが何を基準にどの様に表現したらよいか迷っていた。小野先生から「中国の書家 米芾 を手本にして書くように」との助言をいただき、字集めから始めた。しかし簡単には行かず、米芾の書にはないものは、董基昌の字を当て作成をした。字体については楷書、行書、草書また隷書と多々あるが、題字としては行書があらゆる面から良いのではなからうかと小野先生からお言葉を賜り、行書で書く事とした。

しかし、思うように書く事が出来ずに、紙や筆、墨を選んで、大きく時には小さくと最終的には、数十枚の候補が出来上がった。その中から選んだ約20枚の中から小野先生に選んでいただいたのがこの題字である。それを印刷会社にて題字の大きさにして、不備な点を修正し現題字となった。今回の作成に関わり、題字を書く事の難しさが身に染みて分かった。何日も時間を費やし出来上がっても納得出来ず、師に尋ねると「その程度で良いのではないか」と笑われる次第であった。会員の皆様にはどのように評価されるか気になる所である。最後に題字作成にご指導賜った師、小野先生に感謝申し上げ、題字作成の言葉とする。

公益社団法人京都府柔道整復師会 書道同好会  
大東文化大学書道研究所 名誉成家 井坂 豊  
(本会 城陽支部)

# スポーツ × 医療

「人の役に立ちたい」～その想いに応える学び～



◎中学・高校保健体育一種免許状取得可能 ※星槎大学との協定による ◎鍼灸師+柔道整復師のWライセンス取得を全面サポート  
◎明治国際医療大学認定資格「メディカルアスレチックトレーナー」育成プログラム

こころ和らぐ医療を創造する

## 明治国際医療大学

〒629-0392 京都府南丹市日吉町  
TEL 0771-72-1188(入試事務室) FAX 0771-72-1189  
URL <https://www.meiji-u.ac.jp>



大学HPはコチラ!!

看護学部  
看護学科

保健医療学部  
救急救命学科  
柔道整復学科

鍼灸学部  
鍼灸学科

大学院  
鍼灸学 研究科  
保健医療学 研究科

誰かの支えになる喜び、アスリートを支える医療人へ

## 明治東洋医学院専門学校

〒564-0034 大阪府吹田市西御旅町 7-53  
TEL 06-6381-3811 FAX 06-6381-3800  
URL <https://www.meiji-s.ac.jp>



専門学校HPはコチラ!!

鍼灸学科 [医療専門課程3年制]

柔整学科 [医療専門課程3年制]

## 京柔整会報 機関誌 172号

令和7年1月20日

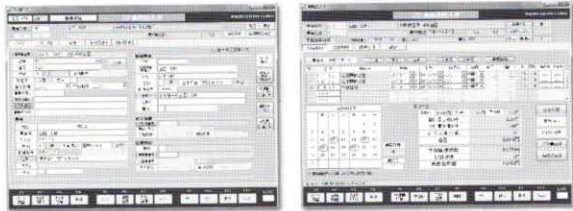
発行者 公益社団法人 京都府柔道整復師会  
会長 林 啓史  
編集責任者 広報部長 中川 稔 貴  
発行所 京都市右京区西京極新明町6番地  
☎ 京都(075)325-0414  
(広報部)  
印刷所 株式会社 幸伸  
京都市下京区中堂寺庄ノ内町1-131  
TEL.(075)314-2251  
FAX.(075)314-5177



公益社団法人 京都府柔道整復師会でも導入率No.1!

# 接骨院・整骨院のレセコンなら 業界No.1の『三四郎くん』

導入実績 10,000 件以上!!



▲ 保険証入力画面

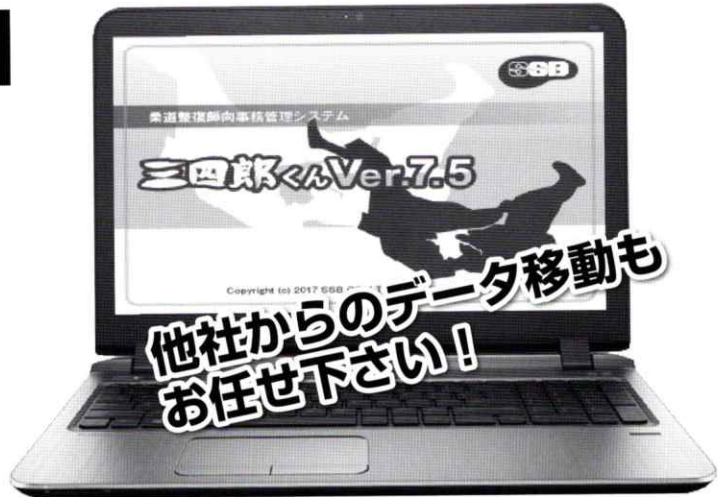
▲ 傷病通院入力画面

オプションで  
さらに便利!!



サーマルプリンタ

QRコードシステム



※一部ご希望に添えない場合があります。

使い勝手の良い操作性はもちろん、療養費改正等の保険改正にすばやく対応。迅速サポートで  
ご好評を頂いている『三四郎くん』は、常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。



【東京ショールーム・SSB研修センター】  
東京都千代田区神田三崎町2-7-10  
帝都三崎町ビル7F

超音波画像ファイリングシステム

⊕ ウルトラ三四郎 Next

大切な超音波画像をUSBメモリで  
簡単取り込み・保存できます!

## 超音波観察装置 ラインナップ

弊社は『匠の技 伝承』プロジェクト  
に協力しています。

柔道整復師向け

詳しくは弊社にお問合せ下さい。



Viamo sv7

医療機器認証番号:  
229ACBZX00025000  
製造販売元:  
キャノンメディカルシステムズ株式会社

HS-2200

医療機器認証番号:  
225AHBZX00034  
製造販売元: 本多電子株式会社



SONIMAGE MX1

医療機器認証番号:  
230ABBZX00010000  
製造販売元: コニカミノルタ株式会社

SSB 株式会社 エス・エス・ビー

HPはこちらから▶

<https://www.sanshiro-net.co.jp/>



【関西営業所】 ☎532-0011

大阪市淀川区西中島4-13-24 花原第3ビル405号  
TEL 06-6390-3462 / FAX 06-6390-3463

最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース  
<https://www.jusei-news.com/>

